出張講義ガイド
2026

中部学院大学・中部学院大学短期大学部

かよいあう
学びの心を育てたい。

人は誰でも、他者との関わりの中で生きています。
相手を深く理解し、また自分も同じように理解してほしいと思う。
そんな人間本来が持つ、自然な思いやりや気づかいを身につけるため、
まず自分自身を深く見つめ、自分を知り、自分を明らかにする。
それが中部学院の学びの原点です。
私たちは、学生一人ひとりの“かよいあうこころ”を育てることで、
すべての人が共に支え合い、自分らしく、人間らしく生きていける
社会の実現を目指しています。
多くの人と学びの歓びを共有し、よりよい明日の社会を創る。
医療・健康・教育・福祉・経営を通し、いま社会から
一番求められる人材育成を追求する、中部学院です。

INDEX

学部・学科別検索 …… 2
領域別検索 …… 4
中部学院大学・中部学院大学短期大学部
学長・副学長 …… 6
人間福祉学部　人間福祉学科 …… 7
教育学部　子ども教育学科 …… 13
看護リハビリテーション学部　理学療法学科 …… 19
看護リハビリテーション学部　看護学科 …… 24
スポーツ健康科学部　スポーツ健康科学科 …… 31
大学・短期大学部 …… 36
短期大学部　幼児教育学科 …… 37
短期大学部　社会福祉学科 …… 41
大学事務局 …… 45
出張講義申込みについて …… 48

■学びの領域「医療」

さまざまなスペシャリストが活躍する医療の世界。最近では各スタッフが連携して患者さんやその家族を多角的にケアする“チーム医療”が提唱されています。医師をはじめ、理学療法士や看護師、保健師などめざす職業に合わせて、それぞれの立場から“チーム医療”に必要な専門性や人間性について理解することができます。

■学びの領域「健康」

乳幼児から高齢者まで、すべての人の健康づくりや健康維持をサポートするために必要な学問です。栄養や福祉・介護などの分野と連携することで、病気の予防やリハビリテーションに役立つ知識やスキルも追求できます。年々ニーズが高まってきている分野で、活躍の場は学校や企業、行政、医療機関などに広がります。

■学びの領域「教育」

一言で“教育”と言っても学校教育や家庭教育、生涯教育などその種類はさまざま。それらの理論や指導法を心理学や社会学などあらゆる観点から研究します。講義や教育実習を通し、人間が成長していく上で必要なプロセスや解決すべき問題などについて学習。将来的には小学校や幼稚園を中心に多方面での活躍が期待されます。

■学びの領域「福祉」

子どもや高齢者、障がいのある人、その家族や地域の人などの“暮らし”を支え、幸せな社会の実現をめざすための学問です。高齢化が急速に進む日本では、生活だけでなく健康支援をテーマにした福祉も追求。すべての人が健康で充実した生活を送るために必要な社会環境やシステム、地域づくりについて考えます。

■学びの領域「経営」

組織の合理的な運営や経営についての理論や方法論を研究する学問です。企業はもちろん、最近では地域づくりやスポーツマネジメントなどの分野でも必要とされています。将来的には一般企業をはじめ、スポーツ関連の組織・団体での活躍や、税理士や公認会計士といった職種での活躍が期待されます。

学部・学科別検索

学長・副学長

フュージョンエネルギー研究の現状と見通し	本島　修	6
生と死を考える	片桐　史恵	6
英語好きへの第一歩	片桐多恵子	6

人間福祉学部　人間福祉学科

町内会と福祉の関係	飯尾　良英	8
もしものときに備えるしくみ自助・互助・共助・公助	大藪　元康	8
表現療法（芸術療法）に触れてみよう	高木　総平	8
Human Well-being=SDGs ×グリーンソーシャルワーク	宮嶋　淳	8
身近な地域のなかで社会福祉を支える人々	佐甲　学	9
子ども家庭福祉（子ども虐待、不登校等）の世界にようこそ	藤岡　孝志	9
障害をもつ人たちのくらしと働き方について考える	福地　潮人	9
「子どもの福祉」の仕事はおもしろい	平野　華織	9
「インクルーシブアート」で“私”をひらく	水野　友有	10
精神疾患および精神障がい者の理解について	加藤　大輔	10
未来の介護をデザインする	壬生　尚美	10
あなたにもできる！認知症のお年寄りの支援！	森田　直子	10
老化が関連する病気と介護	名倉　弘美	11
障がい者支援における社会運動と共生	打保　由佳	11
発達障害の基礎知識（主に成人期における）、発達障害と就労について	竹村　忠憲	11
障がいのある人たちがふつうに生きるとは	兼松　博之	11
医療ソーシャルワーカーの仕事	手島　浩司	12
精神疾患や精神障がいのある方への周囲の理解と関わり方	渡辺　明夏	12
性格特性論に基づく職業選択	村上　秀和	12

教育学部　子ども教育学科

令和の時代に求められる学力	小林　直樹	14
ふるさとに学ぶ －コミュニティ・スクールの活動を通して－	服部　吉彦	14
言葉を学ぶおもしろさ・むずかしさ	山田　丈美	14
言語の論理と慣用について －外国語学習はなぜ難しいか－	下内　充	14
教育活動に生かすシニアの力	森　透	15
ヒトの子どもの発達を調べる	林　美里	15
愛着障害の理解とケア	樋口　成樹	15
発達障がいのユニークな世界を考える	別府　哲	15
幼児期から小学校段階で身につけさせたい英語のカとは？	新井　謙司	16
未来を生き抜く力は幼児期にこそ育まれる	西垣　吉之	16
小中学校の先生の仕事は感動がいっぱい	立川　健之	16
今が家庭生活を見直すチャンス	河井　洋子	16
絵で診る自分の「心」	益川　優子	17
色いろいろ －描画材の特性－	八桁　健	17
身近な環境に目を向けよう	梅田　裕介	17
フィリピンという国	加藤コラゾン	17
タブレット端末を活用した楽曲制作	加藤　寛人	18

看護リハビリテーション学部　理学療法学科

人はなぜ太る？－「ダイエットの科学」－	大森　正英	20
脳って不思議がいっぱい	千鳥　司浩	20
脳の世界	三上　章允	20
福祉機器と支援技術（Assistive Technology）	井村　保	20
「日本人」ってどんな人？戦没者遺骨収集で日本人を探す	清水　大輔	21
筋肉の仕組みと役割～健康の秘訣は筋肉にある～	三川浩太郎	21
ころばぬ先の杖／腰痛予防	大嶽　昇弘	21
障害予防のためのセルフストレッチング「肩こり・腰痛を軽くしよう！」	鵜飼　建志	21
尿失禁予防のための運動	笠野由布子	22
転ばない身体づくり	菅沼　惇一	22
抗酸菌って何？～結核と肺非結核性抗酸菌症について～	松村　佑介	22
見えているのに転ぶ？―知覚と身体の不思議な関係―	袴田　友樹	22
超音波エコーで筋肉・関節の動きをみえる化！	河田　龍人	23
小児リハビリテーションとは？	山本　晨平	23
心と体の健康を支える運動の力	岩ヶ谷佳那	23

看護リハビリテーション学部　看護学科

子どもの安全と健康を守る	今井　七重	24
「知っておこう、こころの病気」	木村　恵子	24
家族看護って何だろう？	内藤　恭子	24
女性の健康を守る	尾藤　泰子	24
健康をまもる仕事の大切さ	植松　勝子	25
なりたい自分になるために必要な活動と休息について	田島真智子	25
自分自身と家族で守る健康	宮田　延子	25
疾病の発生要因と予防対策を探求する	田中　耕	25
看護における人間関係とコミュニケーション	竹下美恵子	26
排泄（はいせつ）は大切（たいせつ）	木下　幸子	26
子どもの病気と事故	留田　由美	26

認知症ってどんな病気？	平澤　園子	26
「お産」に関わる看護職の役割	篠田　利佳	27
若い時から取り組む生活習慣	髙田　真澄	27
看護師が実践するフィジカルアセスメント	林　久美子	27
手術後の患者さんの離床	柴　裕子	27
看護ってどんな仕事？	宮部美香子	28
“難病”ってどんな病気？	堀田みゆき	28
「感謝」の溢れた場とは	野田　明敬	28
リンパ浮腫ってなんだろう？	苅谷　三月	28
ストレスマネジメント	小野　悟	29
老いるということ	山口奈都世	29
私たちの健康状態は？	長屋　江見	29
誰一人取り残さない社会に向けて	鵜飼　亜紀	29
ナースのお仕事	肥田野ちえこ	30

スポーツ健康科学部　スポーツ健康科学科

自然環境を活かして生活を豊かに	肥後　睦輝	32
誰にでもできるプログラミング	中川　雅人	32
暮らしの中に運動を!!	水野かゞみ	32
運動による身体の変化を楽しむ	有川　一	32
日常生活から考える憲法	浅田　訓永	33
パラスポーツを楽しもう！	後藤　健太	33
武道から学ぶ「自然体」	坂本　太一	33
生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツの関わり方	川西　司	33
「小学校・中学校の体育の先生」の仕事を垣間見よう！	中村　紗綾	34
トップアスリートの科学的サポート	瀧川　寛子	34
体力・運動能力を高める楽しい体育授業	塚本　将太	34
ポジティブだけじゃダメですか？	川村　亮太	34
身体を動かす運動・動作の仕組み	安藤　優香	35

大学・短期大学部　特任教員

新聞ジャーナリズムとマスコミの役割	碓井　洋	36
夢の解像度を高めよう	野方　円	36

短期大学部　幼児教育学科

音楽あそびの知恵袋	杉山　祐子	38
日本社会福祉の精神的源流を辿る	八木橋康広	38
“おと”でコミュニケーション	岡田　泰子	38
子どもの遊びの世界をのぞいてみませんか？	藤井佐由美	38
これから親になる皆さんへ	西垣　直子	39
健康と栄養管理 ～食べ物からできているカラダ～	菊池　啓子	39
社会的養護施設における 保育実習の質の向上を目指しませんか？	村田　泰弘	39
魅力いっぱい、保育の仕事	熊谷　享子	39
子どもと共に	倉畑　萌	40
子どもの「心」と「身体」を育む運動遊び！	小椋　優作	40
インクルーシブ保育	遠座　未菜	40

短期大学部　社会福祉学科

一緒に考えよう、広がる「介護」の可能性	吉川　杉生	42
セラピーの世界	横山さつき	42
介護技術のコツ～無意識な動作を意識してみよう～	高野　晃伸	42
印象を決める身体の使い方、 姿勢と呼吸で人にアピールするには	橋　逸郎	42
高齢者の支援と人権	後藤　裕子	43
うれしい・たのしい・ふくしのお仕事 ～だれかの笑顔が私の元気～	海老　諭香	43
コミュニケーションをはかるってどういうこと？	桝井彩喜恵	43
みんなで協力して危機を乗り越えよう	吉藤　郁	43
元気で楽しい老後を目指す	東倉　一代	44

大学事務局

今を生きる私たちにできること ～見すえて想像して～	杉原　茂男	46
生徒による「ルールメイキング」	鈴木　健	46
これからの時代に求められる力とは	西垣　幸司	46
比較文化と多文化共生	井藤　勝夫	46
対象者に合わせたレク・ワーク体験	高柳　竜一	47
スポーツ指導者に求められるもの	細井　恒樹	47
より良い学校生活ついて考えませんか	池田　哲也	47
亜熱帯化する学校現場で、運動中の事故を防ぐために	小牧　憲充	47

領域別検索

学びの領域　医療

生と死を考える	片桐　史恵	6
医療ソーシャルワーカーの仕事	手島　浩司	12
精神疾患や精神障がいのある方への周囲の理解と関わり方	渡辺　明夏	12
性格特性論に基づく職業選択	村上　秀和	12
人はなぜ太る？ －「ダイエットの科学」－	大森　正英	20
脳って不思議がいっぱい	千鳥　司浩	20
脳の世界	三上　章允	20
福祉機器と支援技術（Assistive Technology）	井村　保	20
筋肉の仕組みと役割 ～健康の秘訣は筋肉にある～	三川浩太郎	21
ころばぬ先の杖／腰痛予防	大嶽　昇弘	21
障害予防のためのセルフストレッチング 「肩こり・腰痛を軽くしよう！」	鵜飼　建志	21
尿失禁予防のための運動	笠野由布子	22
転ばない身体づくり	菅沼　惇一	22
抗酸菌って何？ ～結核と肺非結核性抗酸菌症について～	松村　佑介	22
見えているのに転ぶ？ ―知覚と身体の不思議な関係―	袴田　友樹	22
超音波エコーで筋肉・関節の動きをみえる化！	河田　龍人	23
小児リハビリテーションとは？	山本　晨平	23
心と体の健康を支える運動の力	岩ヶ谷佳那	23
子どもの安全と健康を守る	今井　七重	24
なりたい自分になるために必要な活動と休息について	田島真智子	25
疾病の発生要因と予防対策を探求する	田中　耕	25
看護における人間関係とコミュニケーション	竹下美恵子	26
排泄（はいせつ）は大切（たいせつ）	木下　幸子	26
認知症ってどんな病気？	平澤　園子	26
「お産」に関わる看護職の役割	篠田　利佳	27
看護師が実践するフィジカルアセスメント	林　久美子	27
手術後の患者さんの離床	柴　裕子	27
看護ってどんな仕事？	宮部美香子	28
“難病”ってどんな病気？	堀田みゆき	28
「感謝」の溢れた場とは	野田　明敬	28
リンパ浮腫ってなんだろう？	苅谷　三月	28
ストレスマネジメント	小野　悟	29
老いるということ	山口奈都世	29
私たちの健康状態は？	長屋　江見	29
誰一人取り残さない社会に向けて	鵜飼　亜紀	29
ナースのお仕事	肥田野ちえこ	30
パラスポーツを楽しもう！	後藤　健太	33

学びの領域　健康

フュージョンエネルギー研究の現状と見通し	本島　修	6
Human Well-being=SDGs ×グリーンソーシャルワーク	宮嶋　淳	8
老化が関連する病気と介護	名倉　弘美	11
精神疾患や精神障がいのある方への周囲の理解と関わり方	渡辺　明夏	12
性格特性論に基づく職業選択	村上　秀和	12
人はなぜ太る？ －「ダイエットの科学」－	大森　正英	20
脳って不思議がいっぱい	千鳥　司浩	20
脳の世界	三上　章允	20
福祉機器と支援技術（Assistive Technology）	井村　保	20
筋肉の仕組みと役割 ～健康の秘訣は筋肉にある～	三川浩太郎	21
障害予防のためのセルフストレッチング 「肩こり・腰痛を軽くしよう！」	鵜飼　建志	21
尿失禁予防のための運動	笠野由布子	22
転ばない身体づくり	菅沼　惇一	22
小児リハビリテーションとは？	山本　晨平	23
心と体の健康を支える運動の力	岩ヶ谷佳那	23
子どもの安全と健康を守る	今井　七重	24
「知っておこう、こころの病気」	木村　恵子	24
家族看護って何だろう？	内藤　恭子	24
女性の健康を守る	尾藤　泰子	24
健康をまもる仕事の大切さ	植松　勝子	25
なりたい自分になるために必要な活動と休息について	田島真智子	25
自分自身と家族で守る健康	宮田　延子	25
疾病の発生要因と予防対策を探求する	田中　耕	25
看護における人間関係とコミュニケーション	竹下美恵子	26
子どもの病気と事故	留田　由美	26
「お産」に関わる看護職の役割	篠田　利佳	27
若い時から取り組む生活習慣	髙田　真澄	27
手術後の患者さんの離床	柴　裕子	27
「感謝」の溢れた場とは	野田　明敬	28
ストレスマネジメント	小野　悟	29
私たちの健康状態は？	長屋　江見	29
誰一人取り残さない社会に向けて	鵜飼　亜紀	29
自然環境を活かして生活を豊かに	肥後　睦輝	32
暮らしの中に運動を!!	水野かゞみ	32
運動による身体の変化を楽しむ	有川　一	32
パラスポーツを楽しもう！	後藤　健太	33
武道から学ぶ「自然体」	坂本　太一	33
生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツの関わり方	川西　司	33
トップアスリートの科学的サポート	瀧川　寛子	34
体力・運動能力を高める楽しい体育授業	塚本　将太	34
ポジティブだけじゃダメですか？	川村　亮太	34
身体を動かす運動・動作の仕組み	安藤　優香	35
音楽あそびの知恵袋	杉山　祐子	38
健康と栄養管理～食べ物からできているカラダ～	菊池　啓子	39
子どもの「心」と「身体」を育む運動遊び！	小椋　優作	40
セラピーの世界	横山さつき	42
印象を決める身体の使い方、 姿勢と呼吸で人にアピールするには	橋　逸郎	42
対象者に合わせたレク・ワーク体験	高柳　竜一	47
亜熱帯化する学校現場で、運動中の事故を防ぐために	小牧　憲充	47

学びの領域　教育

生と死を考える	片桐　史恵	6
英語好きへの第一歩	片桐多恵子	6
表現療法（芸術療法）に触れてみよう	高木　総平	8
性格特性論に基づく職業選択	村上　秀和	12
令和の時代に求められる学力	小林　直樹	14
ふるさとに学ぶ －コミュニティ・スクールの活動を通して－	服部　吉彦	14
言葉を学ぶおもしろさ・むずかしさ	山田　丈美	14

言語の論理と慣用について －外国語学習はなぜ難しいか－	下内　充	14
教育活動に生かすシニアの力	森　透	15
ヒトの子どもの発達を調べる	林　美里	15
発達障がいのユニークな世界を考える	別府　哲	15
幼児期から小学校段階で身につけさせたい英語のカとは？	新井　謙司	16
未来を生き抜く力は幼児期にこそ育まれる	西垣　吉之	16
小中学校の先生の仕事は感動がいっぱい	立川　健之	16
今が家庭生活を見直すチャンス	河井　洋子	16
絵で診る自分の「心」	益川　優子	17
色いろいろ －描画材の特性－	八桁　健	17
身近な環境に目を向けよう	梅田　裕介	17
フィリピンという国	加藤コラゾン	17
タブレット端末を活用した楽曲制作	加藤　寛人	18
「日本人」ってどんな人？ 戦没者遺骨収集で日本人を探す	清水　大輔	21
看護ってどんな仕事？	宮部美香子	28
“難病”ってどんな病気？	堀田みゆき	28
私たちの健康状態は？	長屋　江見	29
誰にでもできるプログラミング	中川　雅人	32
日常生活から考える憲法	浅田　訓永	33
パラスポーツを楽しもう！	後藤　健太	33
武道から学ぶ「自然体」	坂本　太一	33
生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツの関わり方	川西　司	33
「小学校・中学校の体育の先生」の仕事を垣間見よう！	中村　紗綾	34
体力・運動能力を高める楽しい体育授業	塚本　将太	34
ポジティブだけじゃダメですか？	川村　亮太	34
音楽あそびの知恵袋	杉山　祐子	38
日本社会福祉の精神的源流を辿る	八木橋康広	38
“おと”でコミュニケーション	岡田　泰子	38
子どもの遊びの世界をのぞいてみませんか？	藤井佐由美	38
これから親になる皆さんへ	西垣　直子	39
健康と栄養管理～食べ物からできているカラダ～	菊池　啓子	39
社会的養護施設における 保育実習の質の向上を目指しませんか？	村田　泰弘	39
魅力いっぱい、保育の仕事	熊谷　享子	39
子どもと共に	倉畑　萌	40
子どもの「心」と「身体」を育む運動遊び！	小椋　優作	40
インクルーシブ保育	遠座　未菜	40
一緒に考えよう、広がる「介護」の可能性	吉川　杉生	42
今を生きる私たちにできること ～見すえて想像して～	杉原　茂男	46
生徒による「ルールメイキング」	鈴木　健	46
これからの時代に求められる力とは	西垣　幸司	46
比較文化と多文化共生	井藤　勝夫	46
対象者に合わせたレク・ワーク体験	高柳　竜一	47
スポーツ指導者に求められるもの	細井　恒樹	47
より良い学校生活ついて考えませんか	池田　哲也	47
亜熱帯化する学校現場で、運動中の事故を防ぐために	小牧　憲充	47

学びの領域　福祉

フュージョンエネルギー研究の現状と見通し	本島　修	6
生と死を考える	片桐　史恵	6
町内会と福祉の関係	飯尾　良英	8
もしものときに備えるしくみ自助・互助・共助・公助	大藪　元康	8
Human Well-being=SDGs ×グリーンソーシャルワーク	宮嶋　淳	8
身近な地域のなかで社会福祉を支える人々	佐甲　学	9
子ども家庭福祉（子ども虐待、不登校等）の世界にようこそ	藤岡　孝志	9
障害をもつ人たちのくらしと働き方について考える	福地　潮人	9
「子どもの福祉」の仕事はおもしろい	平野　華織	9
「インクルーシブアート」で“私”をひらく	水野　友有	10
精神疾患および精神障がい者の理解について	加藤　大輔	10
未来の介護をデザインする	壬生　尚美	10
あなたにもできる！認知症のお年寄りの支援！	森田　直子	10
障がい者支援における社会運動と共生	打保　由佳	11
発達障害の基礎知識（主に成人期における）、 発達障害と就労について	竹村　忠憲	11
障がいのある人たちがふつうに生きるとは	兼松　博之	11
医療ソーシャルワーカーの仕事	手島　浩司	12
精神疾患や精神障がいのある方への周囲の理解と関わり方	渡辺　明夏	12
性格特性論に基づく職業選択	村上　秀和	12
愛着障害の理解とケア	樋口　成樹	15
福祉機器と支援技術（Assistive Technology）	井村　保	20
ころばぬ先の杖／腰痛予防	大嶽　昇弘	21
子どもの安全と健康を守る	今井　七重	24
「感謝」の溢れた場とは	野田　明敬	28
誰一人取り残さない社会に向けて	鵜飼　亜紀	29
パラスポーツを楽しもう！	後藤　健太	33
夢の解像度を高めよう	野方　円	36
音楽あそびの知恵袋	杉山　祐子	38
日本社会福祉の精神的源流を辿る	八木橋康広	38
社会的養護施設における 保育実習の質の向上を目指しませんか？	村田　泰弘	39
魅力いっぱい、保育の仕事	熊谷　享子	39
インクルーシブ保育	遠座　未菜	40
一緒に考えよう、広がる「介護」の可能性	吉川　杉生	42
セラピーの世界	横山さつき	42
介護技術のコツ ～無意識な動作を意識してみよう～	高野　晃伸	42
高齢者の支援と人権	後藤　裕子	43
うれしい・たのしい・ふくしのお仕事 ～だれかの笑顔が私の元気～	海老　諭香	43
コミュニケーションをはかるってどういうこと？	桝井彩喜恵	43
みんなで協力して危機を乗り越えよう	吉藤　郁	43
元気で楽しい老後を目指す	東倉　一代	44
対象者に合わせたレク・ワーク体験	高柳　竜一	47

学びの領域　経営

フュージョンエネルギー研究の現状と見通し	本島　修	6
ふるさとに学ぶ －コミュニティ・スクールの活動を通して－	服部　吉彦	14
自然環境を活かして生活を豊かに	肥後　睦輝	32
新聞ジャーナリズムとマスコミの役割	碓井　洋	36
夢の解像度を高めよう	野方　円	36
より良い学校生活ついて考えませんか	池田　哲也	47

中部学院大学

学長　教授

本島　修

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

PROFILE　京都大学理学部卒業、京都大学ヘリオトロン核融合研究センター教授、核融合科学研究所教授・所長、国際核融合エネルギー研究開発機構（ITER）機構長などを経て現在に至る。その他フランス国レジオンドヌール勲章シュヴァリエなどを受章。2023年には世界のトップ2％の科学者に選出される。

学長を務めて2年目になります。岐阜県・中部地域に密着した教育を行い、昨年は600名の卒業生を輩出しました。学長として、自分の国際的な経験をいかに学生に伝え、地域のセンターオフエクセレンスCOEとして貢献していくかを日々考えております。そのため、学生の気持ちを理解するために英語や特技であるテニスの授業なども昨年は行いました。

講義テーマ　フュージョンエネルギー研究の現状と見通し

私の専門は実験物理学、それもカーボンフリーであり人類究極と言われる核融合（フュージョン）エネルギーの開発研究です。この分野は国際協力・協調と不可分な関係にあり、仕事柄、日米・日欧・日韓・日中協力の責任者も務めました。なかでもITERというフランスで進行中の国際共同プロジェクトの機構長を務めたことは人生最大の経験です。ですから、フランスの文化、英語圏の文化を中心としていかに言語を使えばいいか、各国の歴史と文化をどう理解して付き合えばいいかについて、リベラルアーツの手法を使う授業で一緒に考えていきませんか。私の国際経験を皆さんにお伝えできることを願っています。

中部学院大学短期大学部

学長　教授

片桐　史恵

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

PROFILE　オーストラリア・グリフィス大学卒業。東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科修士課程修了。現在に至る。岐阜県緑化推進委員会「緑の募金運営協議会」委員長、各務原市入札監視委員会委員、岐阜県医療審議会委員、岐阜県がん対策推進協議会委員、岐阜県社会福祉審議会委員、岐阜県水防協議会委員、岐阜 生と死を考える会 副会長

この冊子を手に取って下さっている多くの方々は、所属も年齢も性別も様々であると思いますが、共通点が二つあります。皆、生きているという事と、いつか必ず亡くなるという事実です。いのちに限りがあると認識すると自分の人生と、自分を取り巻く人の人生が違って見えます。ぜひ、楽しみながら一緒に生と死について考え、昨日より今日が、今日より明日が輝いた日になる様、一緒に学んでみませんか。

担当科目　死生学　　その他のテーマ　●絵本から理解する生と死

講義テーマ　生と死を考える

生の有限性を認識した時見えてくるもの。

輝いて生きるために、生と死を見つめ考えてみよう。

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

副学長　教授

片桐　多恵子

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

PROFILE　日本児童英語教育学会理事歴任、文部科学省指定研究開発校・運営指導委員長を歴任、岐阜県公安委員会委員長歴任、岐阜県児童福祉審議会委員長、岐阜県社会福祉審議会委員、保護司選考委員会委員歴任　等

「学ぶことは楽しい」を実感しよう

本学のトレードマークは「笑顔と挨拶」です。明るくて元気な大学です。学びの場は教室だけではありません。実習教育に強いと定評のある本学は、キャンパス内の附属幼稚園や、大学隣接の向山団地の高齢者との日常的な交流の場があるだけでなく、50に上る多種多様な連携をしています。いろいろな処で、いろいろな人たちの中で一つ一つ殻を破って多くのことを学びながら育ちます。学ぶことは、一番のストレス解消法、何故なら人間の脳は学ぶと喜ぶように作られているからです。ぜひ、それを実感してください。

講義テーマ　英語好きへの第一歩

好きになるための英語の回路を脳の中に作りましょう。幼児期に日本語を覚えたように ①リズム（歌） ②イメージ ③言葉の筋トレ、これらを通して英語の回路を楽しく作りましょう。

人間福祉学部
人間福祉学科

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ　町内会と福祉の関係

「地域共生社会」を描く

災害が起きたときに町内会（自治会）が大切な役割を発揮します。普段は役員のなり手がいない、行事に出るのが面倒くさい、あまりよい話は聞きません。しかし、町内会はとても大切な組織と思います。地域ではひとり暮らしの高齢世帯が多くなりつつあります。認知症状や買い物、外出など日常生活に困難が伴い、ついつい家の中で孤立する危険があります。子育て中のお母さんの中には、だれにも相談できなくて育児ノイローゼにかかる人もいます。同じ地域で暮らすもの同士、助け合い安心して暮らすにはどうしたらよいか、地域共生社会について考えます。

担当科目　地域福祉論

その他のテーマ　●ボランティア活動
●介護保険制度

飯尾　良英

教授
人間福祉学部　学部長
通信教育部長

PROFILE
岐阜大学教育研究科学校教育専攻修了、岐阜県社会福祉協議会勤務を経て現職。岐阜県、市町の福祉施策・計画検討会、NPO等の役員、委員を務める。社会福祉士、介護福祉士。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ　もしものときに備えるしくみ 自助・互助・共助・公助

病院に行ったときに支払うお金は、かかった費用の３割分です。これはみんなの支え合いで成り立っています。では、高齢になったら？働けなくなったら？災害が起こったら？社会人として知っておきたい支え合いのしくみを紹介します。

担当科目　ソーシャルワーク演習／キャリア形成論Ⅰ／人間福祉専門演習Ⅰ

その他のテーマ　●超高齢社会のこれから
●災害に備える　どのような準備が必要か

大藪　元康

教授
人間福祉学科　学科長
COC＋プロジェクトリーダー

PROFILE
日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業。同大学院社会福祉学研究科修士課程修了。日本福祉大学社会福祉研修センター研究員を経て、中部学院大学の教員となる。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ　表現療法（芸術療法）に触れてみよう

絵画や箱庭、コラージュに表われた世界を知る

絵画や箱庭、コラージュ（切り張りの作品）を使った心理療法に関わってきました。その体験から、これらの作品にどのように心が表われるかということをいくつかの作品や写真を通して示したいと思います。

担当科目　キリスト教概論／宗教と人間／臨床心理学

高木　総平

教授

PROFILE
同志社大学大学院神学研究科修了。教会の牧師を17年間務め、愛媛のキリスト教主義の女子中高・大学に20年勤めました。臨床心理士でもあり、多くの相談に当り、いのちの電話や被害者支援にも関わってきました。専門は宗教と臨床心理学です。

学びの領域

医療 **健康** 教育 **福祉** 経営

講義テーマ　Human Well-being=SDGs × グリーンソーシャルワーク

満足度の低い日本社会を構造的に創り直そうという動きが広がりつつあります。その動きこそ、【GDP から GDW へ】です。それは、一人ひとりが思う多様な生き方を尊重する社会です。そのような社会で、ウェルビーイングの充実を目指しています。

担当科目　人間福祉特論／子ども・家庭福祉

その他のテーマ　●スクールソーシャルワークとは何か
●生まれてきてよかった！と思える社会とは
●ダイバーシティ・マイスター

宮嶋　淳

教授

PROFILE
東洋大学大学院博士後期課程修了。博士（ソーシャルワーク）。ウェルビーイング学会学術誌編集委員。岐阜県いじめによる重大事態再調査委員会委員。NPO 法人 DOREMI みらい理事。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 身近な地域のなかで社会福祉を支える人々

地域を変える地域福祉実践

新型コロナ感染拡大などを背景に、孤立した生活が広がり、住民の生活・福祉課題は、深刻化しているといわれています。こうした中で、地域に寄り添った居場所づくりや伴泰型支援など、福祉専門職、民生委員、地域住民が協働する新たな実践を考えます

担当科目　地域福祉論Ⅰ・Ⅱ／ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ／災害と福祉／人間福祉専門演習Ⅱ／人間福祉基礎演習Ⅱ／社会福祉士国試対策講座(特講Ⅱ)／社会福祉／ボランティア活動論／ボランティア活動実践論／社会保障

佐甲　学

教授

PROFILE

1985 年より全国社会福祉協議会に 37 年間勤務し、地域福祉部長兼全国ボランティア活動振興センター所長、児童福祉部長、民生部長を歴任。2022 年 4 月より現職。ルーテル学院大学大学院博士前期課程卒業（修士（社会福祉学））。社会福祉士。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 子ども家庭福祉（子ども虐待、不登校等）の世界にようこそ

子ども家庭支援と「支援者への支援」

支援者は、支援を受けているからこそ、子どもたちやその親から見て「困ったときに助けを求めることができる人」としてあり続けることができます。子ども虐待や不登校等を話題にしながら、支援者のバーンアウト、共感疲労等への対処についてお話します。

担当科目　社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ/社会心理学（支援者支援学）/人間福祉専門演習Ⅰ/人間福祉研究/大学院担当科目（社会福祉実践研究 他）

藤岡　孝志

教授
大学院研究科長

PROFILE

九州大学教育学部卒業。九州大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得後退学。博士（人間学）。日本社会事業大学教授を経て、現職。児童養護施設等子ども家庭福祉施設、児童相談所にて支援者（実親、里親含む）への支援に長く従事。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 障害をもつ人たちのくらしと働き方について考える

北欧諸国から学ぶ本当の自立とそれを支える仕組み

2022年秋に国連･障害者権利委員会からの勧告が出され、日本でも障害をもつ人たちのくらしと働き方をめぐる環境が大きく変わろうとしています。この講義では、北欧諸国などの最新の事例から学ぶことを通して、障害をもつ人々が、自分の能力に応じた職業を自由に選択し、住み慣れた地域でくらしていくためには、どのような支援策が必要なのか考えます。

担当科目　社会保障論／国際福祉研究

福地　潮人

教授

PROFILE

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士(社会学)。同大学産業社会学部助手、九州保健福祉大学社会福祉学部専任講師、中部学院大学人間福祉学部准教授を経て、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 「子どもの福祉」の仕事はおもしろい

あなたも一緒に学びませんか

「福祉」の仕事と聞いて、どんな内容をイメージしますか？お年寄りの介護をするホームヘルパーなどを思い浮かべる方が多いと思います。しかし、子どもの援助をする仕事もあります。ここではそのやりがいと苦悩を紹介します。

担当科目　障害者福祉論／子ども家庭福祉論／社会福祉援助技術論

その他のテーマ　●もし障害を持つ人と出会ったら

平野　華織

教授

PROFILE

日本福祉大学社会福祉学部卒業。同大学院社会福祉学研究科修士課程修了。日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター実習教育講師を経て、現在に至る。社会福祉士。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ「インクルーシブアート」で“私”をひらく

障がいのある人たちのアートに触れてみよう！

障がいがあるとされている人たちが表現した絵画や造形物を観察して、そこから何がわかるか、何を受け止めたかを一緒に考えます。誰かが表現したモノやコトに触れることで、今までの「あたりまえ」を疑って、自分の価値観を揺さぶりながら自分の新しい扉をひらいてみませんか。

担当科目　発達心理学／保育の心理学

水野　友有

教授

PROFILE

金沢大学教育学部養護学校教員養成課程卒業。金沢大学大学院教育学研究科障害児教育専攻修士課程修了。滋賀県立大学大学院人間文化学研究科博士後期課程修了。京都大学霊長類研究所研究員を経て本学に就任。学術博士。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ精神疾患および精神障がい者の理解について

心の病をもつ人たちの暮らしや生き方

今の社会の中で『自分らしい生き方』を目指す時、そこには様々な“ストレス”や精神的な“しんどさ”が常につきまといます。その影響で心の病や障がいを抱えてしまうこともあります。講座では、精神疾患や障がいに関する基本的なことに加え、『自分自身のことを少し理解する』ということにも焦点を当てながら、病を抱えながら生活することの意味等について共に考えていきます。

担当科目　精神保健福祉の原理／精神保健福祉演習

加藤　大輔

教授
通信教育部副部長

PROFILE

中部学院大学大学院人間福祉学研究科を修了した後、地域で生活している精神障がい者の方たちがリハビリや相談等をするために利用する施設で8年間、精神保健福祉士として勤務し、現在に至る。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ未来の介護をデザインする

―テクノロジーと介護―

介護は「人の力」だけでなく、ロボットやICTと協力しながら、より安全で質の高いケアへと進化しています。本講座では、共同研究で得られた知見をもとに、これからの福祉を担う皆さんに向けて、“人とテクノロジーが協働する介護”の未来を一緒に考えます。

担当科目　介護福祉論／高齢者福祉論／ソーシャルワーク演習等

壬生　尚美

教授

PROFILE

本学短大専攻科福祉専攻修了。障害者施設と高齢者介護施設の勤務を経て、本学短期大学部、大妻女子大学、日本社会事業大学で教育・研究に従事、現職。博士（臨床福祉）。保育士、介護福祉士、社会福祉士。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマあなたにもできる！認知症のお年寄りの支援！

認知症は周りの人の気配りや工夫で改善する症状が多い疾患です。地域に住む子どもも大人もみんなが支え手です。そのためには認知症について知っておくことが必要です。認知症とはどんな病気？どう接すればよいの？まずはそこから始めましょう!!

担当科目　生活支援技術Ⅱ／介護福祉論／介護総合演習／介護過程／人間福祉専門演習

森田　直子

准教授

PROFILE

名古屋福祉専門学校介護福祉学科卒業、新潟大学人文学部卒業、特別養護老人ホームに介護職・生活相談員として勤務。その後、本学実習センター実習指導講師を経て現在に至る。介護福祉士。

学びの領域

医療 **健康** 教育 福祉 経営

講義テーマ 老化が関連する病気と介護

加齢による身体機能の変化を知ろう

高齢になると、身体機能の低下などによって様々な病気に罹患しやすくなります。どのような病気になりやすくなるのか、その予防や介護についても一緒に学んでいきましょう。

担当科目　こころとからだのしくみ／介護生活支援技術Ⅲ

その他のテーマ　●認知症を知ろう

名倉　弘美

准教授

PROFILE

岐阜県の看護学科卒業、中部学院大学人間福祉学部人間福祉学研究科修士卒業、岐阜県内総合病院勤務、介護支援専門員、看護学校教員を経て 2014 年から現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ 障がい者支援における社会運動と共生

障がい者と支援者と共に生きる社会を目指して

障がい者自身からはじまった社会運動の歴史をふまえ、運動の背景にある障害者問題とは何か？社会によってつくり出される“しょうがい”とは何か？を考えます。障がい者が支援を得て生活できる共生社会を目指しましょう。

担当科目　ソーシャルワーク演習／ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ／人間福祉専門演習Ⅰ／人間福祉特講Ⅳ

打保　由佳

准教授

PROFILE

自立生活運動を行う団体で専従介助者として活動後、静岡県立大学大学院国際関係学研究科の修士課程（国際関係学）を修了。障害者支援施設に勤務した後、中部学院大学通信教育部の非常勤講師を経て、人間福祉学部で現職。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ 発達障害の基礎知識（主に成人期における）、発達障害と就労について

「発達障害」について近年メディア等に多く取り上げられ、広く知られることとなりました。ただ、依然として多くの方に正確な情報と理解が届いているとは言えない状況があります。特に思春期・成人期の発達障害についてはその傾向が顕著です。誰もが一度は聞いたことがある「発達障害」について、もう一度みなさんといっしょに学ぶ機会を持ちたいと思います。

担当科目　精神保健福祉援助技術演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ／精神保健福祉援助実習指導／人間福祉専門演習Ⅰ・Ⅱ／障害者福祉論／精神保健福祉の理論と方法（専門）Ⅰ・Ⅱ 他

竹村　忠憲

准教授

PROFILE

日本大学理工学部卒業、龍谷大学大学院政策学研究科修了。障害者施設職員、管理者等を経て、京都府発達障害者支援センター開設から 10 年間勤務。社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ 障がいのある人たちがふつうに生きるとは

心のバリアフリーって知ってますか。

「心のバリアフリー」という言葉が少しずつ浸透していますが、今でも多くの障がいのある人たちが生きづらさを感じています。心のバリアフリーを切り口にして、障がいのある人たちが普通（ノーマル）に生きることについて一緒に考えます。

担当科目　ソーシャルワークの基盤と専門職／障害者福祉論／ソーシャルワーク演習／実習指導

兼松　博之

准教授

PROFILE

障がい者施設や相談支援の現場で 30 年余り勤務。日本福祉大学大学院　医療・福祉マネジメント研究科修了。中部学院大学講師。（社会福祉士）

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　医療ソーシャルワーカーの仕事

医療現場で働く福祉職

医療ソーシャルワーカーという職業をご存知でしょうか。病院などの保健医療機関におけるソーシャルワーカーで、MSW（Medical Social Worker）ともいわれています。MSW の役割について具体例を交えながらお話しします。

担当科目　ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ・Ⅱ／ソーシャルワーク実習／ソーシャルワーク演習／社会福祉士国試対策講座／保健医療と福祉／医療福祉論

手島　浩司

准教授

PROFILE

愛知大学文学部卒業、日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科修了。障害者施設管理者として施設の法人化、建設に携わる。その後、公立病院、ケアミックス病院の医療ソーシャルワーカーとして勤務。社会福祉士、精神保健福祉士。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　精神疾患や精神障がいのある方への周囲の理解と関わり方

家族や友人としての理解と接し方について

うつ病や統合失調症などの精神疾患や精神障がいは決して珍しいものではなく、誰でもなりうる身近なものです。家族や友人として、精神疾患や精神障がいのある方の症状やしんどさをどのように捉え、関わることができるのかなどについて考えましょう。

担当科目　精神障害リハビリテーション論／精神保健福祉実習指導／精神保健福祉実習／人間福祉専門演習 など

渡辺　明夏

講師

PROFILE

同志社大学大学院社会学研究科社会福祉学専攻博士前期課程修了。精神科クリニックでの依存症者支援、地域の事業所での精神障がいのある方への就労支援、自殺対策、同志社大学での非常勤講師を経て現職。精神保健福祉士、社会福祉士。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　性格特性論に基づく職業選択

看護職や介護職への誘い

一般的には性格特性によって職業適性があるといわれています。しかし看護職や介護職の職場は多岐に渡り、各々の職場によって求められる能力や性格特性が変わります。つまり、どのような性格特性であっても、その性格特性が活きる職業が看護職や介護職だと考えます。先ずは自分自身の性格特性を知ってみませんか。性格特性に適した職業を、お伝えします。そのうえで看護職や介護職も視野に入れてみませんか。

担当科目　生活支援技術／介護総合演習 他

村上　秀和

助教

PROFILE

名古屋市立大学大学院看護研究科精神保健看護学博士前期課程修了(修士：看護学)。岐阜県内の病院や施設にて勤務した後、大学等で看護師の養成に携わり、現在に至る。

教育学部
子ども教育学科

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　令和の時代に求められる学力

国際標準の学力とは

日本の子どもたちは「知識は身に付けているのに、活用することが苦手」ということが、全国学テなどを通してわかってきました。活用力は国際標準の学力です。どんな教育改革を行って活用力を身に付けさせようとしているかをお話しします。

担当科目　教育原理／教職入門／教育行政学

小林　直樹

教授
教育学部　学部長
子ども教育学科　学科長

PROFILE
岐阜大学教育学部卒業。岐阜県内の小中学校で校長等を 19 年間、岐阜県教育委員会の指導主事等を 18 年間勤務した後、平成 25 年より岐阜聖徳学園大学教育学部教授。令和 2 年より現職。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　ふるさとに学ぶ
－コミュニティ・スクールの活動を通して－

ふるさと自慢を

私たちは、自分の育った環境をふるさとと感じ、地域の様々な活動等に参加をして、地域での居場所をもち生活をしています。学校での教科学習や総合的な学習の時間、児童会・生徒会の活動、そして地域での活動等を通して、自分を磨いていくことについて考えてみましょう。

担当科目　言語による表現活動／子ども教育学基礎・専門演習／小中学校教育実習／英語科教育法／教職実践演習／幼保小中連携英語演習

服部　吉彦

教授
子ども教育学科　学科長
教職センター　所長
地域連携推進センター　所長

PROFILE
岐阜大学教育学部英語英文学科卒業。岐阜県内の中学校教諭、本巣市立真桑小学校長、岐阜市立岐阜小学校長、岐阜市立東長良中学校長等を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　言葉を学ぶおもしろさ・むずかしさ

私たちは、毎日、言葉を使って生活しています。言葉によってものを考えたり、自分の内にあるものを表現したり、人とコミュニケーションをとったりします。また、言葉は、子どもの発達にも大きな役割を果たします。この講義では、言葉を使って遊んだり、言葉による活動を行ったりしながら、言葉を学ぶおもしろさ・むずかしさについて実践的に考えてみたいと思います。

担当科目　日本語表現法／国語科教育法／子ども教育学専門演習Ⅰ／教育方法論／教育課程論／保育内容(言葉)Ⅰ

その他のテーマ
- ●国語ってどう教えたらいいの？
- ●子どもとともに学ぶ楽しさ
- ●文学作品から得るものとは

山田　丈美

教授

PROFILE
愛知教育大学大学院・静岡大学大学院教育学研究科博士課程修了。全国大学国語教育学会会員。日本国語教育学会会員。日本解釈学会会員。日本読書学会会員。表現学会会員。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　言語の論理と慣用について
－外国語学習はなぜ難しいか－

意思疎通は基本的には手抜きをして楽をして行いたいものです。言語には文法といわれる論理の目立つ部分の他にこのような社会と文化に沿った手抜きの蓄積があり、これが習慣化していて他文化の人には難しいのです。英語の学習から見てみましょう。

担当科目　英語学概論Ⅰ・Ⅱ／英文法論Ⅰ・Ⅱ／英語コミュニケーションⅠ／子ども教育学専門演習Ⅱ／言語による表現活動Ⅰ-1・Ⅰ-2

下内　充

教授

PROFILE
同志社大学文学部英文学科卒業。京都産業大学大学院外国語学研究科修士課程（言語学専攻）修了。東海女子短期大学助教授、東海学院大学教授を経て現職。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ 教育活動に生かすシニアの力

「人生100年時代」と言われています。少子高齢化の時代でもあります。シニアが学校の教育活動に参加し、活動を通して児童生徒に関わる意味やよさをシニアと児童生徒の両面から考えてみたいと思います。

担当科目　子ども教育学基礎演習ⅠA･ⅠB･ⅡA･ⅡB/生活科教育法/教育現場参観/授業実践演習Ⅱ/学校インターンシップⅠ･Ⅱ/教育実践演習（小･中）/小学校教育実習/小学校教員採用試験対策講座Ⅱ･Ⅲ･Ⅳ/教育実習（中学校）/介護等体験実習/教職入門

森　透

教授

PROFILE

岐阜大学教育学部地学科卒業。岐阜県内の小学校教諭、教頭、校長を歴任、その内８年間、岐阜県教育委員会の指導主事等、教育行政に携わる。岐阜市立加納小学校長後、岐阜市教育委員会での勤務を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ ヒトの子どもの発達を調べる

チンパンジーやオランウータンとの比較から

ヒトの子どもの発達を調べるために、いろいろな方法があります。その１つが、ヒト科の大型類人猿であるチンパンジーやオランウータンと比べるという方法です。心の発達と種間比較を合わせて考えると、ヒトの特徴がよりよく見えてきます。

担当科目　比較認知発達論／情報活用論／幼児と言葉／発達心理学

林　美里

教授

PROFILE

京都大学教育学部卒業。京都大学理学研究科生物科学専攻博士課程中途退学。京都大学博士（理学）。京都大学霊長類研究所助教を経て本学に着任。公益財団法人日本モンキーセンター学術部長、京都芸術大学文明哲学研究所客員准教授を兼任。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ 愛着障害の理解とケア

愛着障害について理解し、対応の考え方を学ぼう

愛着のもんだいは､｢愛着障害児｣のみにかかわるものではありません。え？なぜここでこの言動？というような不可解な行動を読み解くカギになるキーワードの一つに愛着のもんだいがあります。整理して理解すれば適切な対応の糸口が見えてくるかもしれません。

担当科目　社会福祉原論／社会的養護 など

樋口　成樹

教授

PROFILE

米国ポートランド州立大学ソーシャルワーク大学院修士課程修了、上智社会福祉専門学校、宮崎学園短期大学保育科教員など

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ 発達障がいのユニークな世界を考える

自閉スペクトラム症、ADHD のある子どもたち

発達障がいのある子どもたちは､｢～～ができない｣のではなく、ユニークなやり方、ユニークな世界を持っている人たちです。それを例を挙げながら、一緒に考えてみたいと思います。

担当科目　特別支援教育論／教育相談／教育心理学／障害児保育

別府　哲

教授

PROFILE

京都大学教育学部卒業、京都大学教育学研究科博士後期課程中退。博士（教育学）。岐阜大学教育学部・助手、岐阜大学教育学部・教授を経て、現在に至る。公認心理師、臨床心理士。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
幼児期から小学校段階で身につけさせたい英語のカとは？

幼児期から小学校段階で子どもたちが出会う英語の学習は、子どもたちにとって将来の英語の学習にどのような意味をもつのでしょうか。小学生の「文字の学び方・読み方」という視点から、認知的側面にも触れながら「音と文字」の学習のあり方について皆さんと考え合う講座にしたいと思います。

担当科目　小学校英語／英語コミュニケーション／英語科教育法

新井　謙司
教授

PROFILE
岐阜県内の小・中学校の教員時代、上越教育大学大学院にて言語系コース（英語）にて学んでいる中で小学校英語に出会い、その後、小・中兼務英語専科教員、高山市教育委員会指導主事、日本児童英語教育学会事務局長を経て、現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
未来を生き抜く力は幼児期にこそ育まれる

幼児期は遊びを通して将来を生き抜くために必要な様々な学びを得ています。この講座では日常的に見られる普段の子ども達の姿を通して、その「あたりまえ」の行動にこそ生き抜くための力が育まれていることについて、幼児の内面の動きに触れながら、一緒に考えてみましょう。

担当科目　幼児理解の理論と方法／保育内容総論／幼児指導法／保育内容（人間関係）等

その他のテーマ
●幼児期の育ちを支える保育者の指導・援助
●ちょっと気になる子どもへの指導・援助
●幼児理解を深めるための手立て

西垣　吉之
教授（特任）
幼稚園教諭・保育士コース長

PROFILE
早稲田大学教育学部教育学科教育学専攻卒業後、兵庫教育大学大学院学校教育研究科幼児教育専修修了。保育園での実践経験を経て、子どもの心の理解、援助者としての保育者の役割について実践研究に取り組む。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
小中学校の先生の仕事は感動がいっぱい

小中学校教員のやりがいと楽しさ
過重労働と言われる教員の仕事。学校現場には、もちろん大変なこともあるけれど、教員は子どもたちの日々の成長を実感でき、子どもとともに多くの感動を味わうことができる素敵な職業です。教員の勤務実態や待遇も改善の方向に動いています。

担当科目　算数／算数科教育法／子ども教育学基礎演習／授業実践演習

立川　健之
教授（特任）

PROFILE
岐阜大学教育学部数学科卒業。岐阜県内の小中学校での勤務、岐阜県教育委員会等の教育行政での勤務を経て、岐阜市立長良小学校長を最後に退職。初任者研修指導者を経て現職。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
今が家庭生活を見直すチャンス

～身近なところからの生活改善～
身近な生活を衣生活、食生活、住生活、消費生活などの視点から見て、自分でできる改善点をみつけてみませんか？生活がほんのすこし豊かになり、心のゆとりが生まれます。子どもたちが小学校から学ぶ家庭科は、生活に役立つことをわかりやすく学ぶことができます。

担当科目　子ども教育学基礎演習／小学校教員採用試験対策講座／家庭

河井　洋子
教授（特任）

PROFILE
岐阜大学教育学部家政学科卒業。岐阜県内の小中学校教諭、岐阜県教育委員会指導主事、北方町立北方小学校長、岐阜市立本荘小学校長、中部学院大学・中部学院大学短期大学部附属桐が丘幼稚園長等を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ 絵で診る自分の「心」

この講座では、簡単な絵を描いて頂き、描かれた絵の様子から「心の中に何となく存在しているのに言葉にならない何か」について探っていきます、よくわかっているようで、実はよくわかっていない自分の心を覗いてみませんか？

担当科目 幼児と人間関係／児童心理学／人間関係論／教育心理学／子ども家庭支援論／学生相談

その他のテーマ LEGO を使った協働学習

益川　優子

准教授

PROFILE

奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了。博士(学術)。中京学院大学短期大学部、三重大学高等教育創造開発センター、愛知学泉大学現代マネジメント学部、修文大学短期大学部を経て本学に着任。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ 色いろいろ －描画材の特性－

身近なものから絵の具を作る

水彩・油彩・アクリル絵の具、ポスターカラー、クレヨン、パステル…巷には様々な描画材があふれていますが、使われている顔料はほぼ一緒。絵の具の中身を知れば、身近なものがすぐに絵の具に変身します。

担当科目 図画工作／図画工作科教育法／幼児と表現／保育内容(造形表現)／保育表現技術講座

八桁　健

准教授

PROFILE

都留文科大学卒業。埼玉大学大学院教育学研究科修士課程修了。東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程単位取得満期退学。東京都小学校教諭、東京大学大学院特任研究員、順天堂大学非常勤講師、岐阜大学非常勤講師、東京学芸大学非常勤講師等を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ 身近な環境に目を向けよう

身近なものでこんなに遊びが広がる！

私たちの身の回りにはたくさんの自然や環境が溢れています。例えば砂や風、廃材などです。その環境は目を向けなければ風景ですが、子どもの目線で目を向けるとたくさんの遊び、体験が見えてきます。子どもの気持ちや考え方を、一緒に楽しく遊びながら体験してみましょう！

担当科目 幼児と環境／保育内容(環境)Ⅰ／保育内容(環境)Ⅱ／幼稚園教育実習Ⅰ／子ども教育学基礎演習ⅠA･ⅠB／保育者論／子ども教育学専門演習Ⅰ／幼児と健康／保育現場参観　等

梅田　裕介

准教授

PROFILE

愛知教育大学大学院の生活科教育領域にて修士課程修了。中学校の教諭、通信制高等学校教諭と併せてフリースクールの職員、そして幼稚園教諭としての現場経験を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ フィリピンという国

フィリピンは約7000の島からなり、公用語が一つではない多言語国家です。それぞれの島が独自の言語と文化を持ち、フィリピンの多様性を広げています。講義では、フィリピンの言葉と文化を紹介し、社会問題にも目を向けます。

担当科目 英語／言語による表現活動

加藤　コラゾン

講師

PROFILE

ウェスト・ヴィサヤス州立大学教育学部卒業、同大学農学部動物科学科卒業、シドニー工科大学英語教育修士課程修了。フィリピン、カンボジア、日本で30年以上の教職歴を経て現在に至る。

学びの領域

医療　健康　**教育**　福祉　経営

講義テーマ

タブレット端末を活用した楽曲制作

誰にでもできる楽曲制作

近年ではICTを活用した音源制作が行われていますが、専門的な知識や楽譜が読めないといけないイメージはありませんか？実はタブレットを活用することによって誰もが、憧れのあの曲、好きな曲をアレンジ制作することができます。音楽の新しい楽しみ方を体験しましょう。

担当科目　音楽A･B／総合表現活動A･B／音楽科教育法／教育方法論／子ども教育学基礎演習

加藤　寛人

助教

PROFILE

名古屋音楽大学音楽学部卒業、愛知教育大学大学院教育学研究科修了、東京音楽大学指揮科研修生修了。テューバ奏者、吹奏楽指導者、愛知工業大学名電高等学校講師を経て令和７年度より現職。中部学院大学吹奏楽部常任指揮者。

看護リハビリテーション学部

理学療法学科

看護学科

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
人はなぜ太る？
－「ダイエットの科学」－

人間の体の仕組みは近代文明と合いません！
人類は病原微生物がうようよいる環境で飢えと闘いながら生き延びてきました。そうした体の仕組みを現代人類も受け継いでいるので、清潔すぎる環境や充分すぎる食糧事情の下では本来の機能を発揮できずに肥満や病気になることも少なくないのです。

担当科目　理学療法基礎演習Ⅰ、Ⅱ／成人･老年疾病治療論Ⅰ、Ⅱ／医学概論／精神疾病治療論／生化学

その他のテーマ
- ●高齢者こそしっかり食べよう
- ●若返り進む超高齢社会

大森　正英
教授
看護リハビリテーション学部　学部長
附属図書館長

PROFILE
茨城県出身。東京大学医学部卒。同大学大学院博士課程修了。ヴァンダービルト大学医学部研究員。岐阜大学講師、東海女子大学教授、東海女子短期大学学長、東海女子大学学長を経て現職。専門は栄養生理学、公衆衛生学、医学博士、保健学博士

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
脳って不思議がいっぱい

知覚に支配される身体
我々の体は脳によって支配されており脳は学習を繰り返し、改変し続けることが分かっています。最近、脳トレがブームになっているのも、これに基づいた結果です。本講では錯覚(イリュージョン)を通して、脳と体の関係について皆さんにお話しします。

担当科目　神経障害系理学療法評価学／物理療法学／認知運動療法概論／運動学実習

千鳥　司浩
教授
理学療法学科　学科長

PROFILE
中部リハビリテーション専門学校卒業。愛知大学法学部卒業。愛知淑徳大学大学院博士前期課程心理学専攻修了。名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程（博士）。愛知医科大学病院リハビリテーション部を経て現在に至る。日本認知神経リハビリテーション学会理事。専門理学療法士。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
脳の世界

脳の中には外の世界の地図がある
学習・記憶・認知・思考・言語・意識・感情など、ヒトで最も発達した精神機能は脳の働きによるものです。感覚や運動の脳領域には外の世界の地図があり、その脳領域の細胞が活動すると地図の部分に感覚や運動の意識が生まれます。

担当科目　生理学／神経内科系医療学／人体の構造と機能／疾病治療（脳神経）／老年医学系医療学／生理学実習

その他のテーマ
- ●脳と記憶－記憶は脳のどこにある－
- ●色は脳で見る－外の世界に色はない－
- ●脳は変わる－記憶も学習も脳の変化－
- ●脳の健康、脳の病気

三上　章允
教授

PROFILE
北海道大学医学部卒業、北海道大学医学研究科中退。京都大学霊長類研究所助手、准教授、教授を経て現職。この間、UCLA客員研究員、米国国立衛生研究所客員科学者、エール大学客員准教授を併任。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ
福祉機器と支援技術
(Assistive Technology)

障害のある人のできることを作る技術や制度
福祉機器というと車椅子を思い浮かべる人が多いでしょうが、それ以外にもコミュニケーション機器や住宅改修に関する機器(支援技術)などがあります。これらの機器が、どのように障害のある人の生活に役立つか、技術的側面と補助制度などの社会的側面から学びます。

担当科目　生活環境論／福祉機器入門／生活支援工学

その他のテーマ
- ●生活環境と住環境整備
- ●福祉用具の給付制度
- ●情報社会のコミュニケーション

井村　保
教授

PROFILE
豊橋技術科学大学大学院修士課程修了、金沢大学大学院自然科学研究科博士課程単位取得退学後、本学人間福祉学部を経て現在に至る。元名古屋大学医学部兼任講師、元東京大学先端科学技術研究センター私学研修員。厚生労働省 補装具評価検討会構成員。

学びの領域

医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ 「日本人」ってどんな人？ 戦没者遺骨収集で日本人を探す

自然人類学から見た日本人

第二次世界大戦中に海外で亡くなった日本人は 240 万人に及びます。昭和 27 年以来、日本人の戦没者・抑留中死亡者の遺骨収集が行われてきました。遺骨収集では戦争で亡くなった日本人を特定しなければなりません。他の国の人を日本人と間違えて日本に連れてくることはあってはなりません。では日本人とはどんな人たちでしょう？国籍やアイデンティティ、ルーツなどいろいろな定義ができます。自然人類学の知見から日本人がどんな人たちか見ていきましょう。

担当科目　解剖学Ⅰ・Ⅱ／人体の構造と機能／心理学／情報活用論／病理学／病理学総論

清水　大輔

教授

PROFILE

京都大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程修了。博士(理学)。英国リバプール大学、英国ローハンプトン大学、京都大学霊長類研究所、日本モンキーセンター、京都大学大学院理学研究科を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ ころばぬ先の杖／腰痛予防

ころばぬ先の杖〜いつまでも元気で歩けるために〜

転倒予防と杖についてお話し、簡単な運動を紹介します

腰痛予防

腰痛にならないように、普段からのこころがけ

担当科目　理学療法概論／マニュアルセラピー／日常生活活動学

その他のテーマ
- ●マニュアルセラピー
- ●理学療法って何？
- ●膝のはなし

大嶽　昇弘

教授（特任）

PROFILE

東北大学大学院医学系研究科修士課程修了、修士(障害科学)。岐阜大学大学院医学系研究科博士課程修了、博士(医学)。健康科学大学教授を経て現職。理学療法士、OMT。

学びの領域

医療 **健康** 教育 福祉 経営

講義テーマ 筋肉の仕組みと役割 〜健康の秘訣は筋肉にある〜

筋肉は関節を曲げる、からだを動かすための器官として重要ですが、筋肉の量も、健康に影響しています。同じ体重の人でも、「脂肪が多い人」と「筋肉が多い人」とでは、寿命予測に大きな差があります。もちろん、後者のほうが、長生きできることが明らかになってきています。この講義では、筋肉量を増やすためのポイントをお話しします。

担当科目　運動生理学／内部障害系理学療法学／内科系医療学

三川　浩太郎

教授

PROFILE

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了。理学療法士。博士(医学)。平松内科・呼吸器内科リハビリクリニック(非常勤)。(公社) 岐阜県理学療法士会副会長。

学びの領域

医療 **健康** 教育 福祉 経営

講義テーマ 障害予防のためのセルフストレッチング 「肩こり・腰痛を軽くしよう！」

ヒトは重力に逆らって、二足歩行を開始しました。それ以来、重い頭を支えるために首や肩のコリを、重い上半身を支えるために腰痛を抱えてしまいました。これらの辛さを改善するために、自分でできるストレッチング（実技）をお伝えします。スポーツ障害にも使えます。

担当科目　運動学(筋系)／スポーツ障害系理学療法学／理学療法運動生理学Ⅰ(筋力トレーニング学)／その他

その他のテーマ
- ●元気なカラダをつくる！中高年のための自宅筋トレと腰痛・肩こり予防
- ●未来のエースを守る！肩と肘のコンディショニングと投球フォーム作り

鵜飼　建志

准教授

PROFILE

国立東名古屋病院附属リハビリテーション学院卒業。名城大学卒業。理学療法士、法学士、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、日本トレーニング指導者協会認定上級トレーニング指導者。元中日ドラゴンズメディカルコーチ。整形外科リハビリテーション学会副代表理事。元七十七銀行バトミントン部トレーナー。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　尿失禁予防のための運動

骨盤底筋とは何か？

妊娠・出産などのライフイベントや加齢に伴う姿勢の変化、筋力の弱化は、女性の身体に様々な変化をもたらします。とくに出産後や加齢によって起こる尿失禁は社会生活を萎縮させかねない重要なトラブルで、その予防と対策が急務です。この講義では、主に骨盤底筋の弱化に伴う尿失禁のメカニズムと、その予防としての骨盤底筋トレーニングについてお話しします。

担当科目　地域理学療法学／体表解剖学／運動学Ⅱ／臨床運動学／生理学実習

笠野　由布子

准教授

PROFILE

平成医療専門学院卒業。理学療法士。保健衛生学士。社会福祉学修士。岐阜中央病院（現：岐阜清流病院）、大阪医科大学附属病院での臨床経験を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　転ばない身体づくり

立つ歩くの神経科学から

高齢社会をむかえて転倒が問題として挙げられています。なぜ転倒が生じてしまうのか？どのようにしたら転ばなくなるのか？について神経科学や臨床研究などの知見に基づいて一緒に考えていきましょう。

担当科目　基礎理学療法検査・測定論／神経障害系理学療法

菅沼　惇一

准教授

PROFILE

中部学院大学リハビリテーション学部理学療法学科卒業。東京都立大学大学院人間健康科学研究科理学療法科学域専攻終了（博士）。摂南総合病院リハビリテーション科を経て現在に至る。理学療法士。転倒予防指導士。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　抗酸菌って何？〜結核と肺非結核性抗酸菌症について〜

日本でも過去に大流行した結核。医療の発展により死亡率は減少していますが、いまだ感染者が確認されている怖い病気です。肺非結核性抗酸菌症（肺 NTM 症）は近年増加傾向にある肺の病気で、結核と同じ抗酸菌に分類されます。抗酸菌の概要、結核や肺 NTM 症の病態、呼吸リハビリテーションについてお話しいたします。

担当科目　内部障害系理学療法学／内部障害系理学療法学実習／運動学Ⅱ／運動学実習／物理療法学実習／チーム医療論

松村　佑介

講師

PROFILE

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了。理学療法士。博士（医学）。恩賜財団済生会支部済生会長崎済生会病院，医療法人社団愛語会要町病院，公益財団法人結核予防会複十字病院を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　見えているのに転ぶ？—知覚と身体の不思議な関係—

感覚が動きを左右するしくみを知る

「見えているのに転ぶ?」—知覚と身体の不思議な関係—をテーマに，身体と知覚のズレに注目します。なぜ見えているのにうまく動けないのかを考え，転びそうになる身近な場面から，転倒の原因と予防をわかりやすく学ぶ講義となります。

担当科目　臨床運動学／基礎理学療法検査・測定論／運動学実習

袴田　友樹

講師

PROFILE

東京都立大学人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域博士課程修了。博士（健康科学）。筑波記念病院，葛西中央病院リハビリテーション科を経て現在に至る。専門理学療法士，転倒予防指導士。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 超音波エコーで筋肉・関節の動きをみえる化！

近年、病院や整形外科およびスポーツクリニックで普及している超音波エコーを活用すると、リアルタイムで筋肉や関節の動きを確認しながらリハビリが行えます。本講座では、超音波エコーで観察できる組織や、実際の現場での活用方法についてお話しします。

担当科目　骨関節障害系理学療法学／整形外科系医療学／運動器超音波解剖実習／運動学Ⅰ／体表解剖学

河田　龍人

助教

PROFILE

中部学院大学リハビリテーション学部理学療法学科卒業、立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科修士課程修了（スポーツ健康科学修士）。いえだ整形外科リハビリクリニック、名古屋スポーツクリニックを経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 小児リハビリテーションとは？

こどものリハビリをもっと身近に

ハンディキャップを持つこどもにとってリハビリは必要不可欠となります。こどものリハビリと大人のリハビリの大きな違いは、こどもが成長・発達の途中にあるという点にあります。本講座では、こどもの発達のポイントと、それを応用したリハビリについて一部紹介します。

担当科目　運動学Ⅰ／基礎理学療法検査・測定論Ⅲ／運動学実習／小児発達系理学療法学／小児発達系理学療法学実習／チーム医療論／介護の基本B

山本　晨平

助教

PROFILE

長崎大学医学部卒業。同大学大学院修士課程修了。長崎県と福岡県で小児リハビリテーション、急性期医療の臨床経験を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 心と体の健康を支える運動の力

運動とストレスから健康づくりを考える

運動は筋力や体力だけでなく、心身の健康にも大きく関わっています。本講義では、運動やストレスが健康に与える影響を学び、心と体の健康を維持するための健康づくりや予防の重要性についてお話します。

担当科目　運動学Ⅰ／理学療法管理学

岩ヶ谷　佳那

助教

PROFILE

聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部リハビリテーション学科卒業。聖隷クリストファー大学大学院リハビリテーション科学研究科修士課程修了。ケアハウスアドナイ館、静岡厚生病院を経て現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 子どもの安全と健康を守る

子どものけがや病気の応急処置法（病児保育を含む）

子どもはさまざまなけがや病気にかかります。子どもの様子が変化したときにもしっかりと対応できるよう、子どものけがや病気に関する正しい知識を身につけましょう。

担当科目　小児看護学概論／子どもの保健／小児臨床看護論Ⅰ・Ⅱ

今井　七重

教授
看護学科　学科長

PROFILE
筑波大学医療技術短期大学部看護学科卒業（現、筑波大学医学群看護学類）。岐阜大学大学院医学研究科看護学専攻修了。筑波大学病院、岐阜大学病院、病児保育園での勤務を経て、短大、大学において、看護師養成に携わり、現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 「知っておこう、こころの病気」

精神の病気は、５大疾患となり身近な病気となっています。しかし、「こころの病気」については、わからないことや知らないことが多いのではないでしょうか。こころが病気になるとどんなことに困るのでしょうか？どんな手助けができるでしょうか？いっしょに考えてみませんか？

担当科目　精神看護学／精神看護学概論／精神臨床看護Ⅰ

木村　恵子

教授
看護学科　学科長補佐

PROFILE
国立療養所岐阜病院附属看護学校卒業後、看護師として臨床看護に携わる。その後看護師養成教育の専門学校、短期大学の教員を経て現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 家族看護って何だろう？

社会の基本単位の一つである家族は、人々の価値観の変化に伴い、血縁や婚姻を伴う形ばかりではなくなっています。その家族をケアするとは？　また多様な家族の変化に応じたケアとは何かを一緒に考えてみましょう。

担当科目　在宅臨床看護Ⅰ（看護技術）／在宅臨床看護Ⅱ（看護過程・展開技法／地域看護（地域ケア・予防活動）／基礎看護学実習Ⅰ／在宅看護論実習／統合看護実習／看護学研究（ゼミナール）／看護学特論Ⅰ

内藤　恭子

教授

PROFILE
名古屋保健衛生大学卒業（現、藤田保健衛生大学）。岐阜大学大学院教育学研究科学校教育専攻修了。大学病院などで看護師としての勤務を経て、専門学校、短期大学、大学において、看護師養成に携わり現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 女性の健康を守る

女性ホルモンの健康への影響

妊娠・出産を自らの体で担っている女性は、男性に比べて性と生殖に関する健康を損なうリスクを多く持っています。女性と男性の性差を正しく理解し、女性自らが健康に過ごすための方法などをお話します。

担当科目　母性看護学概論／母性臨床看護Ⅰ／母性臨床看護Ⅱ（看護技術・看護過程演習）／母性看護学実習／看護学専門演習（看護研究）

尾藤　泰子

教授

PROFILE
岐阜大学医学部附属看護学校卒業。京都大学医療技術短期大学部助産学特別専攻修了。看護師、助産師として臨床看護に携わる。岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻修了後、看護師養成教育の専門学校、大学の教員を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 健康をまもる仕事の大切さ

行政保健師のしごとを知ろう

皆さんが暮らしている地域には、どこの市町村にも「保健師」がいます。あまり知られていない「保健師」の健康をまもる仕事の大切さについて、わかりやすく説明します。普段意識することが少ない「健康」について、一緒に考えてみましょう。

担当科目 保健医療福祉行政論／公衆衛生看護技術論／公衆衛生看護活動論／公衆衛生看護学概論／公衆衛生看護管理

その他のテーマ
- ●子育て支援で楽しい育児
- ●発達障がい児の保護者支援

植松　勝子

教授

PROFILE

岐阜県立衛生専門学校第一看護学科・保健学科を卒業。中部学院大学人間福祉学部および大学院人間福祉学研究科後期博士課程修了（社会福祉学博士）。町保健センターで保健師として25年勤務後、幼児教育系の大学教員を経て、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ なりたい自分になるために必要な活動と休息について

活動（運動）と休息が心身に与える影響を知り、なりたい自分になるために今できる体づくりの方法を一緒に考えましょう。

担当科目 基礎看護学概論Ⅰ・Ⅱ／看護倫理学／基本看護技術Ⅰ～Ⅳ／フィジカルアセスメント／基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ／地域包括ケア実習／統合看護実習／看護学基礎演習Ⅰ-1・2／看護学研究

田島　真智子

教授

PROFILE

岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程修了、人間環境大学大学院看護学研究科博士課程修了、赤十字病院や市民病院などで看護師としての勤務を経て、専門学校、短期大学、大学において看護師育成に携わり現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 自分自身と家族で守る健康

看護職である保健師の仕事を知っていますか？

人は生まれてから死ぬまで成長発達し続ける存在です。その段階に応じた身体的、心理的、社会的な健康課題に向きあうことになります。生涯にわたる健康問題を予防する立場から、個人や家族により添って支援する保健師の仕事からお話しします。

担当科目 家族看護論／公衆衛生看護学概論

宮田　延子

教授（特任）

PROFILE

岐阜大学医学部附属看護学校卒業。滋賀県立保健看護専門学院保健婦科卒業。佛教大学社会学部社会福祉学科卒業。岐阜県・市町村・病院保健師に従事。岐阜医療科学大学、日本保健医療大学を経て本学に就任。保健師。博士（社会福祉学）

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 疾病の発生要因と予防対策を探求する

疾病対策の歴史から学ぶこと

われわれ人間はこれまでに感染症などの多くの病気に悩まされ、それを克服してきました。しかし、がんや難病など原因が未解明の病気に今も悩まされています。疾病要因が必ずしも明らかになっていなくても、予防対策のとれることを学びましょう。

担当科目 保健統計学／公衆衛生学／疫学／医療関係法規

田中　耕

教授（特任）

PROFILE

岐阜大学大学院農学研究科修士課程修了後、岐阜県職員として保健、環境等の分野に従事し、現在に至る。この間、岐阜大学医学部研究生（疫学・予防医学）。博士（医学）。日本公衆衛生学会認定専門家、関市環境審議会会長など。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 看護における人間関係とコミュニケーション

看護の対象とする人々は様々な状況にあり，看護の役割を果たすには，お互いを理解しあう良好なコミュニケーション技術が必要となります。援助を行う上でのコミュニケーション技術をみがく簡単なワークと共に学びます。

担当科目　基本看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ／フィジカルアセスメント／看護学概論／看護倫理学

竹下　美恵子

教授（特任）

PROFILE
金城学院大学大学院博士課程・後期課程人間生活学専攻（博士課程）修了。名古屋第一赤十字病院看護師として勤務後、看護基礎教育に携わる。岐阜大学医学部看護学科基礎看護学分野教授を経て現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 排泄（はいせつ）は大切（たいせつ）

大声では話さないけど大切なこと

私は皮膚・排泄ケア認定看護師といって、皮膚、便や尿に関する看護を専門に勉強してきています。食べることは重要ですが便や尿を出すことも大変大切です。便の大きさや柔らかさ、量は？臭いは？色は？下痢とは？便秘とは？排泄を考えてみませんか？

担当科目　看護倫理学／看護学概論Ⅰ・Ⅱ（看護理論）／基本看護技術Ⅰ（共通）／基本看護技術Ⅲ（看護過程展開技法）／基本看護技術Ⅳ（診療の補助）／基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ／フィジカルアセスメント／国際看護論／看護学基礎演習Ⅰ／看護学研究（ゼミナール）

その他のテーマ
- ●人工肛門・膀胱（ストーマ）って知っていますか？
- ●皮膚ってすごいよ！
- ●床ずれって知っていますか？

木下　幸子

教授（特任）

PROFILE
岐阜大学医学部附属看護学校卒業、岐阜大学病院、企業勤務後、金沢大学大学院医学系研究科博士前期、後期課程（保健学）修了。皮膚・排泄ケア認定看護師、特定行為研修修了。金沢医科大学看護学部准教授を経て現職。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 子どもの病気と事故

子どもは、免疫力も低く、認知機能・判断力も未熟です。そのため、病気になりやすく、事故にも遭いやすい特徴があります。子どもに多い病気や事故の予防、家庭での対処法についてお話しできればと思います。

担当科目　小児臨床看護Ⅰ／小児臨床看護Ⅱ／小児看護学実習（看護学科）／看護学研究（ゼミナール）／看護学特論Ⅱ／看護学専門演習Ⅰ／基礎看護学実習Ⅰ／地域包括ケア実習／子どもの保健（幼児教育学科）

留田　由美

准教授

PROFILE
岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻修了。総合病院・クリニックにて看護師として勤務後、看護系専門学校、短期大学にて小児看護学などを担当。2014年4月本学着任し、現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 認知症ってどんな病気？

認知症になっても、自分らしく生きるために

「認知症になると何もできなくなる」本当にそうでしょうか。高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、認知症の早期発見や予防が欠かせません。それを可能にするための看護の役割について、皆さんに伝えていきたいと考えています。

担当科目　老年臨床看護論Ⅰ（健康障害と看護）／老年臨床看護論Ⅱ（看護技術・看護過程演習）／呂年看護学演習／統合看護学演習／看護学基礎演習Ⅰ／看護学専門演習（看護研究）

その他のテーマ
- ●予防を含めた認知症看護
- ●高齢者の“もてる力”を活かした看護実践

平澤　園子

准教授

PROFILE
中部労災看護専門学校卒業後、総合病院・介護老人保健施設で看護師として勤務した後、看護専門学校・短期大学等で看護教員として老年看護を担当。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 「お産」に関わる看護職の役割

妊娠～出産～産後・子育てを支える看護

妊娠して出産を決めたら…妊娠健診や出産準備教室、出産、産後の育児まで、お産の前後には看護職が関わる様々な場面があります。それぞれの場面で看護職は具体的に何をしているのでしょうか。「お産」を通して看護の役割を考えてみましょう。

担当科目　基礎看護学実習Ⅱ／母性臨床看護Ⅰ(周産期の看護)・Ⅱ(看護技術・看護過程演習)／母性看護学実習／看護学基礎演習Ⅱ／看護学研究(ゼミナール)

篠田　利佳

准教授

PROFILE

名古屋大学医療技術短期大学部看護学科卒業、同専攻科助産学特別専攻修了。岐阜大学大学院地域科学研究科修了。助産師として病院・診療所で 24 年間勤務。短大看護学科講師、専門学校・大学の非常勤講師を経て現職。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 若い時から取り組む生活習慣

心地よさを再現するために

健康づくりにはバランスのとれた生活習慣が欠かせません。特に「食事」の偏り、「睡眠不足」は身体への負担だけでなく、学習面やメンタル面にも影響します。若者世代の理想的な生活習慣の取り組みをお手伝いしたいと思います。

担当科目　保健医療福祉行政論／公衆衛生看護活動論Ⅱ／公衆衛生看護技術論(家庭訪問、健康教育)／産業保健論／公衆衛生看護診断演習／公衆衛生看護学実習Ⅰ(個人・家族・集団の生活支援実習)／公衆衛生看護学実習Ⅱ(公衆衛生看護活動展開実習)／公衆衛生看護学特論／看護学基礎演習／看護学研究(ゼミナール)

その他のテーマ　●質の良い睡眠がもたらすメリット

髙田　真澄

准教授

PROFILE

名古屋大学医学部保健学科卒業。同大学院博士課程前期課程修了。愛知医科大学大学院単位取得満期退学。博士（医学）。名古屋市立大学大学院医学研究科環境省エコチル調査愛知ユニットセンター保健師、企業保健師を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 看護師が実践するフィジカルアセスメント

器具を使わず身体のどんなことがわかるのか

看護師は、患者さんを目で見て、手で触れて、話や音を聞いて、いろいろな情報を得て看護をしています。聴診器などの器具を使わずにどんなことがわかるのかをお話します。

担当科目　成人臨床看護論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ／成人看護学演習／看護学専門演習(看護研究)／統合看護学演習

林　久美子

准教授

PROFILE

岐阜大学医療技術短期大学部卒業、岐阜大学医学部附属病院勤務後に岐阜大学医学部看護学科へ編入学。再び臨床に戻り、岐阜大学医学系研究科看護専攻修了。短期大学教員、大学教員を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 手術後の患者さんの離床

何故、寝ていることがだめなのでしょうか。

手術をしたら痛いのに、何故、早く起きないといけないのでしょうか。痛みのある患者さんが、自分の力で起きるためには、どのようにしたらよいのか、考えてみませんか。

担当科目　成人臨床看護Ⅰ(健康障害と看護)／成人臨床看護Ⅱ(看護技術・看護過程演習)／成人看護学実習(急性期)／成人看護学実習(慢性期)／看護学研究(ゼミナール)／成人看護学概論／総合看護実習

柴　裕子

准教授

PROFILE

岐阜県立多治見看護専門学校卒業。岐阜県立多治見病院、中津川市民病院で看護師。岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻修了。大学教員、臨床で看護師を経て、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　看護ってどんな仕事？

看護はじめは手で「看る」こと

看護を身近に感じてもらえるように、看護の「看る」の意味である、手で見ることの体験と経験を交えながら看護師の仕事について紹介していきます。また患者さんをケアすることで自分自身も成長してきたことを経験からお話しできればと思います。

担当科目　成人臨床看護Ⅰ（健康障害と看護）・Ⅱ（看護技術・看護過程演習）/ 成人看護学実習Ⅰ（慢性期）・Ⅱ（急性期）/ 看護学特論Ⅱ / 看護学研究（ゼミナール）

宮部　美香子

准教授

PROFILE

岐阜大学医学部附属看護学校卒業後、日本赤十字社医療センター、岐阜大学医学部附属病院において、臨床看護、看護管理に携わる。産能大学大学院経営情報学研究科修了。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　“難病”ってどんな病気？

“難病“のかたとの関わりから得た沢山の宝

未だ治療法が確立していない、希少である、長期の療養生活が必要の“難病”。難病拠点病院で難病コーディネーターとして、（特に神経難病療養者との関わりを中心に）得た、難病療養者の幅広いネットワーク力、”いきる”力強さをお伝えしたい。

担当科目　在宅臨床看護Ⅰ（看護技術）・Ⅱ（看護過程・展開技法）/ 在宅看護論実習 / 看護学基礎演習Ⅱ / 看護学研究（ゼミナール）

堀田　みゆき

准教授

PROFILE

岐阜大学医学部付属病院看護専門学校卒業、佛教大学社会福祉学部社会福祉学科卒業、岐阜大学医学系研究科看護学専攻　地域健康援助額　地域看護学分野修了、岐阜大学医学部付属病院　看護部（難病医療コーディネーター兼務）での勤務を経て、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　「感謝」の溢れた場とは

互恵的相互依存関係が成り立つ協同的な環境

集団における対人的な相互関係は、肯定的な関係の「協同」と否定的な関係の「競争」、そして相互に無関係となる「個別」といった３つの社会的文脈があります。その中でも、協同的な価値観が優位である環境がもたらす影響について考えます。

担当科目　統合看護学

野田　明敬

准教授

PROFILE

南山大学大学院人間文化研究科教育修士課程修了。中部学院大学大学院人間福祉学研究科博士課程修了。小牧市民病院看護主任、日本赤十字豊田看護大学助手を経て現職。研究テーマは、職業の継続・自己効力感に関する研究。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　リンパ浮腫ってなんだろう？

早期発見と予防が大切！

リンパ浮腫は、がん治療でリンパ液の流れが悪くなることで起こる、治りづらく、進行しやすい症状です。リンパ浮腫の見つけ方や予防、適切な治療や生活の工夫、相談先などについての知識を身につけましょう。

担当科目　在宅臨床看護Ⅰ・Ⅱ

苅谷　三月

准教授

PROFILE

北里看護専門学校卒業。北里大学病院、岐阜大学医学部附属病院勤務、愛知県立看護大学大学院修了、病棟管理、がん看護専門看護師として緩和ケア・がん看護外来実践を経て 2025 年度より現職。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ ストレスマネジメント

～こころとからだの健康を維持するために～

こころとからだの健康を崩すきっかけはストレスによるものが多いのですが、自分ではなかなか気づきにくいという特徴があります。ストレスに気づき、うまく付き合いながら自分らしく生きるための工夫について一緒に考えましょう。

担当科目　精神臨床看護Ⅰ・Ⅱ／精神看護学実習／地域包括ケア実習／看護学研究

その他のテーマ

小野　悟

准教授

PROFILE

精神科病院で看護師として約 20 年勤務し、外来や病棟で精神疾患を抱える患者の支援とスタッフのメンタルヘルス支援を実践。2015 年に精神看護専門看護師（CNS）を取得。岐阜県立看護大学大学院博士後期課程（看護学）修了。現在に至る。

学びの領域

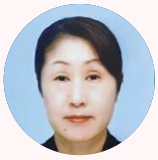
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 老いるということ

加齢変化による生活への影響について考えてみよう

日本は、高齢者の人口が増えています。そして、誰もが老いを経験します。老いるとはどういうことなのか、そして、老いることによる様々は変化（からだ、こころ、人とのつながり）から生じる生活への影響、特に生活のしづらさを一緒に考えましょう。

担当科目　老年臨床看護Ⅰ／老年臨床看護Ⅱ／老年看護学実習Ⅰ／老年看護学実習Ⅱ／統合看護実習／看護研究（ゼミナール）／看護学特論Ⅲ



山口　奈都世

講師

PROFILE

中部学院大学大学院博士課程修了。看護師として 25 年以上の臨床経験を得て看護教育に携わる。専門は老年看護学。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 私たちの健康状態は？

身体の音を聴いてみよう

私たちの健康状態を示す重要な指標としてバイタルサイン測定（身体の状態を示す基本的なサイン）があり、医療現場だけでなく日常生活においても非常に重要です。どんな方法でわかるのか、また、聴診器（心臓・肺・腸管の音を聴くための医療器具）を使って身体の音を聴いてみませんか。

担当科目　基本看護技術Ⅰ（共通）・Ⅱ（日常生活援助技術）・Ⅲ（看護過程展開技法）・Ⅳ（診療の補助）／基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ／ フィジカルアセスメント／看護学基礎演習Ⅰ - Ⅰ・Ⅱ／統合看護実習／看護学研究（ゼミナール）

長屋　江見

講師

PROFILE

岐阜大学大学院医学系研究科看護学専攻継続看護教育分野修士課程修了。病院にて看護師として勤務を経て、短期大学・大学において看護師養成に携わり現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 誰一人取り残さない社会に向けて

路上生活を送る人への支援から考える

路上生活を送る人の中には、知的障害や発達障害を抱えている人がいます。障害などをもった人の路上生活から地域生活への支援を通して、誰もがとりこぼされることない地域社会の実現に向けて、地域に求められていることは何か、必要な支援とは何かについて考えます。

担当科目　保健医療福祉行政論／公衆衛生看護活動論／公衆衛生看護技術演習

鵜飼　亜紀

講師

PROFILE

名古屋学芸大学大学院看護学部看護学専攻終了。市町村保健センターなどで保健師としての勤務を経て、専門学校などで保健師育成に携わり、現在に至る。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ

ナースのお仕事

リアルとやりがい

看護師の仕事を具体的にイメージできるよう、現場でのリアルな経験やその中でのやりがいなどについて、教科書には載っていない看護という仕事について

担当科目　成人臨床看護Ⅰ／成人臨床看護Ⅱ(看護技術･看護過程演習)

肥田野　ちえこ

助教

PROFILE

社会保険中京看護専門学校卒業、社会保険中京病院、県北西部地域医療センター国保白鳥病院、岐阜大学大学院医学系研究科修士課程修了、現在に至る

スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

学びの領域
医療 **健康** 教育 福祉 **経営**

講義テーマ　自然環境を活かして生活を豊かに

岐阜の自然環境の現状と保全にもとづく社会づくり

岐阜県には県土の81%にも達する森林をはじめとする貴重な自然環境がたくさんあります。自然環境と我々の社会は不可分であり我々の社会が持続的に発展するのに自然環境は重要な役割を果たします。生活を豊かにするための自然環境との付き合い方について考えてみます。

担当科目　環境と人間／情報活用論Ⅰ

肥後　睦輝

教授
大学学長補佐
スポーツ健康科学部　学部長

PROFILE
北海道大学大学院農学研究科修了。
岐阜大学社会システム経営学環を経て中部学院大学教授。

学びの領域
医療 健康 **教育** 福祉 経営

講義テーマ　誰にでもできるプログラミング

プログラミングの面白さを体験しよう

わずか５分でできるプログラミングを通して、パソコンを思い通りに操作する面白さを体験しましょう。

担当科目　情報活用論／情報処理論

中川　雅人

教授
スポーツ健康科学科　学科長

PROFILE
岐阜大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学。中部学院大学経営学部経営学科を経てスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科教授。岐阜県警察サイバー犯罪対策アドバイザー。

学びの領域
医療 **健康** 教育 福祉 経営

講義テーマ　暮らしの中に運動を!!

私たちは健康であるためにそれぞれのライフスタイルに応じた運動の実践が大切です。対象にあわせた健康づくりのための運動の仕方についてお話をします。

担当科目　健康スポーツ論／水泳／スポーツ科学論／生涯スポーツ論他

水野　かゞみ

教授

PROFILE
日本大学文理学部体育学科卒業。同大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程修了(文学修士)。岐阜大学医学部疫学・予防医学分野研究生満期修了。

学びの領域
医療 **健康** 教育 福祉 経営

講義テーマ　運動による身体の変化を楽しむ

「運動」と「身体」に関わる面白いお話をお届けします

健康の維持・増進のために定期的な運動が必要だとよく言われますが、一般的に知られていない運動の効果も数多くあります。簡易的な実験を行いながら「運動と身体」について解説を行い、呼吸、循環、代謝の変化等、驚くべき真実の一部を紹介することができればと考えています。

担当科目　身体発達論／測定評価論／スポーツ科学論／身体による表現活動／基礎演習／専門演習／卒業研究

有川　一

教授

PROFILE
筑波大学体育専門学群卒業、岐阜大学大学院教育学研究科修了(修士(教育学))、岐阜大学大学院医学系研究科医科学専攻修了(博士(医学))。岐阜県立土岐商業高等学校教諭、岐阜県立岐阜北高等学校教諭を経て本学へ赴任。研究分野は生理学、スポーツ医学。専門種目は剣道。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 日常生活から考える憲法

憲法は考える学問である

憲法というと、堅苦しく、暗記科目というイメージがありませんか。憲法は、わたしたちの身近にあり、実際に使われているものです。憲法の視点から、日本社会をみてみましょう。

担当科目　日本国憲法／法学／民法

浅田　訓永

教授
留学生別科長

PROFILE

京都産業大学法学部卒業。同志社大学大学院法学研究科博士前期課程修了。同大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学。同志社大学法学部嘱託講師等を経て、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ パラスポーツを楽しもう！

Sports　for　“Every body”

障がいがある人もない人も工夫次第で十分一緒にスポーツを楽しめます。「パラスポーツってどんなだろう？」と思う方、ぜひみんなで一緒にトライしてみませんか？実際に体験しながら、スポーツの気軽さ、面白さ、奥深さを学んでいきましょう。

担当科目　スポーツ健康科学入門／障がい者スポーツ論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ／障がい者スポーツ実技／障がい者スポーツ実習／運動処方論／レクリエーション実技

後藤　健太

准教授

PROFILE

日本福祉大学卒業後、障がいスポーツ指導員を経て渡米。インディアナ大学大学院運動学部博士課程満期修了。その後、和歌山県立医科大学や福岡・誠愛リハビリテーション病院等で障がいのある方への運動指導や研究を重ね現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 武道から学ぶ「自然体」

伝統的な行動の仕方を考える

剣道や柔道の授業はなぜ実施されるのでしょうか。礼法を学ぶため？正座は何のためにするの？暑さや寒さに負けないため？我が国で育まれた「武道」の成り立ちと、その教育性をわかりやすく解説します。

担当科目　基礎演習Ⅰ・Ⅱ／スポーツとキャリア／スポーツ実技(剣道)／インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ／身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)／健康スポーツ論／スポーツ科学論／専門実習／卒業研究

坂本　太一

准教授

PROFILE

日本体育大学体育学部武道学科卒業、日本体育大学大学院体育科学研究科博士前期課程修了（体育科学修士）、同大学院博士後期課程単位取得満期退学、岐阜薬科大学スポーツ・科学研究室助教を経て現在に至る。剣道錬士六段。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 生涯スポーツ社会の実現に向けたスポーツの関わり方

スポーツを『する・みる・ささえる・知る』

生涯スポーツ社会では、個人の体力や年齢、技術や興味・関心に応じて、「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツと関わることが求められます。ライフスタイルに合ったスポーツの多様な関わり方について、国内外の事例を中心に一緒に考えましょう。

担当科目　基礎演習Ⅰ／スポーツ健康科学入門(障がい・マネジメント)／スポーツマネジメント／スポーツクラブ経営論／スポーツ産業論／スポーツツーリズム演習／スポーツ社会学／レクリエーション論／身体による表現活動Ⅰ（スポーツ実技）／インターンシップⅡ・Ⅳ／専門演習／卒業研究

川西　　司

講師

PROFILE

中京大学体育学部卒業、中京大学大学院体育学研究科修士課程修了。大阪体育大学生涯スポーツ実践研究センター（現：社会貢献センター）研究員、中京大学大学院スポーツ科学研究科実験実習助手を経て、現在に至る。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ

「小学校・中学校の体育の先生」の仕事を垣間見よう！

学校の先生の仕事や魅力とは？

小学校の先生の仕事の内容は？一日の仕事，一年の仕事は？児童が下校した後や授業以外の仕事はどんなものがあるの？知っていそうで知らない部分を紹介し、魅力ややりがいを伝えます。

担当科目　保健体育科教育法／体育科教育法／スポーツ教育論／身体による表現活動Ⅰ／教育実習事前・事後指導

中村　紗綾

講師

PROFILE

岐阜大学教育学部保健体育講座卒業、岐阜大学大学院学校教育学研究科総合教科教育専攻保健体育領域修了(修士【教育学】)。岐阜県内の小学校教諭として６年勤務。その後、名古屋経営短期大学専任講師を経て現在に至る。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ

トップアスリートの科学的サポート

合理的な動きとは？

高いパフォーマンスを発揮するためには、合理的な動作を行う必要があります。合理的な動作とは何なのか？トップアスリートの科学的サポート事例を紹介しながら一緒に考えていきましょう。

担当科目　スポーツバイオメカニクス／測定評価論／スポーツ科学論／身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)／基礎演習Ⅱ／専門演習／卒業研究

瀧川　寛子

助教

PROFILE

中京大学大学院修了、中京大学スポーツ科学部(2020～2024)/中部学院大学スポーツ健康科学部(2024～)／日本陸上競技連盟科学委員／日本パラ陸上競技連盟情報・科学スタッフ

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ

体力・運動能力を高める楽しい体育授業

運動遊びで「心」と「身体」を育む

現代では、「体力の低下」や「体育・運動嫌い」といった、運動やスポーツに対するネガティブな言葉を耳にすることが増えています。児童・生徒全員が、楽しみながらたくさん体を動かすことができる運動遊びを取り入れた体育授業を体験し、その効果を実感してみましょう。

担当科目　スポーツ指導論／スポーツ実技(器械運動)／保健体育科教員特別演習Ⅰ・Ⅱ／身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)／基礎演習Ⅰ・Ⅱ／専門演習

塚本　将太

助教

PROFILE

岐阜大学教育学部学校教育教員養成課程卒業、岐阜大学大学院教育学研究科(教職修士(専門職))、兵庫教育大学大学院博士後期課程(2024～)／中部学院大学スポーツ健康科学部(2024～)

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ

ポジティブだけじゃダメですか？

不安を力に変える考え方とパフォーマンスの心理学

不安は悪いものだと捉えられがちですが、不安は人間にとって必要な機能の一つです。本講義では、不安を力に変え、部活や受験で結果に繋げる方法を心理学の観点からわかりやすく具体例を交えながら紹介します。

担当科目　心理学／スポーツ心理学Ⅰ・Ⅱ／スポーツカウンセリング／メンタルトレーニング他

川村　亮太

助教

PROFILE

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士前期課程修了(スポーツ科学修士)・博士後期課程単位取得退学。日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング指導士。HPSC パッケージサポート・スペシャリスト「チームビルディング」。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ

身体を動かす運動・動作の仕組み

自分の身体はどうやって動かしている？

立ち上がる・歩くなどの日常動作から、走る・跳ぶなどのスポーツ動作まで、私たちが身体でできる“動作”がどんな仕組みで可能になっているのかを考えていきましょう。

担当科目　運動学(運動方法学を含む)／解剖学／トレーニング論／スポーツ科学論／身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)／基礎演習ⅠⅡ／専門演習

安藤　優香

助教

PROFILE

中京大学大学院スポーツ科学研究科修士課程修了、同大学院実験実習助手(2022～2025)／和歌山県立医科大学みらい医療推進センター研究員(2025～2026)

大学・短期大学部

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 **経営**

講義テーマ 新聞ジャーナリズムとマスコミの役割

新聞報道の現場から社会貢献を目指す

新聞を中心にジャーナリズムとマスコミの社会的な役割を改めて問い直す。ニュースを主体的に捉え、ニュースの背景を読み解く力を養う。新聞による選挙報道や事件の調査報道の具体例を紹介し、人権やプライバシー保護、報道被害の防止を考える。

担当科目　現代マネジメント研究／現代社会と情報

碓井　洋

教授(特任)

PROFILE

同志社大学文学部社会学科新聞学専攻を卒業。岐阜新聞社に入社し編集局報道部に配属。編集局報道部長、東京支社長、取締役編集局長を経て代表取締役社長に就任。現在は取締役相談役を退任し、十六総合研究所アドバイザー。岐阜県レクリエーション協会顧問。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** **経営**

講義テーマ 夢の解像度を高めよう

『自己理解』を深め、夢を実現しよう

いままでの経験・出会いから生まれた夢を実現する過程がその方の人生となります。自分自身と向き合い、「どういう人間でありたいか」、「どういう人生を送りたいか」を考え、『自己理解』を深め、夢の実現への道筋を一緒に考えましょう。

担当科目　情報活用論Ⅰ／美濃と飛騨のふくし／人間福祉特講Ⅰ

野方　円

准教授

PROFILE

中京大学大学院情報科学研究科修了、高知工科大学大学院起業家コース博士課程単位取得退学。システムエンジニアとして勤務後，介護福祉士、社会福祉士養成、地域活動に従事。介護福祉士、社会福祉士、国家資格キャリアコンサルタント。

短期大学部
幼児教育学科

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 音楽あそびの知恵袋

子どもとのあそびや、大人の健康増進に音楽を生かそう!

ノンバーバルコミュニケーションとしての音楽を、子どもたちとの関わりに生かしましょう。だって音楽のきらいな子どもはいないでしょう。確かな知識を持って、身近で親しみのある音楽を遊びや生活に生かす知恵をお教えします。

担当科目　音楽表現活動／総合表現活動／音楽

杉山　祐子

教授
幼児教育学科　学科長

PROFILE
愛知県立芸術大学音楽科器楽専攻卒業。岐阜大学大学院教育学修士。岐阜県音楽療法士。岐阜県教育委員会能力開花支援事業登録講師。子そだて支援教室講師。全日本リトミック音楽教育研究会会員。おもちゃコンサルタント。音楽あそび、コンサート開催。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 日本社会福祉の精神的源流を辿る

社会福祉の先駆者・留岡幸助の精神的土壌

日本の監獄改善、青少年更生事業のパイオニア留岡幸助の生涯を紹介しその意味を考えることで、地域に根差しながら同時に地球規模の視点をもって、人間にとってのよりよい人生と共生、福祉の可能性を探ります。

担当科目　キリスト教概論 / 基礎ゼミナール / 幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅰ

八木橋　康広

教授

PROFILE
同志社大学神学部卒業後２年間の民間団体勤務を経て、同大学院神学研究科博士課程前期修了、以後３２年間牧師生活を送る。この間３年間の海外留学、同後期課程にて歴史神学を専攻し学位〈博士（神学)〉修得。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ “おと”でコミュニケーション

人間にとって“おと”とは何だろう

私たちの身のまわりには、さまざまな“おと”があふれています。何げなく生活の中に音楽を取り入れて過ごすこともあるでしょう。“おと”の存在が私たちに何を及ぼしているのでしょうか。実際に触れて、聴いて、感じて“おと”の素晴しさを味わってみませんか。

担当科目　音楽／総合表現活動／基礎ゼミナール／幼児と表現

その他のテーマ
- ●楽しいリトミック
- ●子どもと音楽
- ●すてきにピアノ

岡田　泰子

教授

PROFILE
愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノ科卒業。全日本リトミック音楽教育研究会岐阜支部長、岐阜市文化芸術推進審議会会長、中部学院大学ハンドベルクワイア指揮者、岐阜県音楽療法士。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 子どもの遊びの世界をのぞいてみませんか？

子どもの遊びの面白さとは

子どもは遊びの天才です。思いもよらないような発想や工夫をしている子どもの遊びの面白さを、実践を踏まえながらお話ししたいと思います。子どもの「クスッ」と笑える姿が満載です。だから保育者の仕事って楽しいんです。

担当科目　幼児と人間関係／保育内容「環境」／子育て支援／幼稚園教育実習事前･事後指導Ⅰ／基礎ゼミナール／保育基礎講座Ⅰ

藤井　佐由美

教授

PROFILE
岐阜聖徳学園大学教育学部卒業。岐阜市立幼稚園教諭、岐阜市子ども・若者総合支援センター“エールぎふ”乳幼児支援係長、岐阜市立幼稚園長を経て令和８年度から現職。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ これから親になる皆さんへ

子育ての大変さと楽しさを想像してみよう

小さい子どもと間近で接することなく親になる人が増えています。子どもってかわいいですか？めんどくさいですか？子どもと一緒の生活は結構面白いものです。子どものことを知って、子育てについてのイメージを膨らませてみませんか。

担当科目　保育内容総論／保育・教育課程論／幼稚園教育実習事前事後指導Ⅰ／専門ゼミナール／教職実践演習

西垣　直子

教授(特任)

PROFILE

愛知教育大学幼稚園課程幼児教育学科卒業。名古屋市立幼稚園教諭、岐阜県内の保育園保育士・子育て支援センター担当保育士・園長として勤務。岐阜聖徳学園大学短期大学部・名古屋短期大学非常勤講師、岐阜女子大学特任講師を経て現職。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 健康と栄養管理 ～食べ物からできているカラダ～

健康な心と体をつくろう！

人間の体を健康な状態に保つためには、栄養摂取は不可欠なものです。いつどんな時にどんなものを体のために摂取していくかを、病気やその人のライフスタイルとともに考えていきましょう。また、子どもの頃からの食体験が成長してからの体に影響をもたらします。今こそ、いいものを食べましょう。

担当科目　子どもの食と栄養／臨床栄養／生活支援技術／スポーツ栄養

菊池　啓子

教授（特任）

PROFILE

椙山女学園大学家政学部卒業。同大学院生活科学研究科修了。岐阜県教員を経て現在に至る。人間福祉学会会員、栄養士。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 社会的養護施設における保育実習の質の向上を目指しませんか？

社会的養護施設の人材確保の一つの方法は「保育実習の質の向上」がポイント！

さまざまな分野で人材不足が叫ばれていますが、社会的養護施設の人材不足も深刻な問題です。人材確保にはさまざまな取り組みが必要ですが、その一つとして「保育実習の質の向上」があるのではないかと考えています。「人材確保」につながる「保育実習の質の向上」について、現場の皆様と一緒に考えていきたいと思います。

担当科目　保育実習Ⅰ B(施設)／保育実習Ⅲ(施設・児童館)／社会的養護Ⅰ・Ⅱ／子ども家庭福祉／社会福祉学／特別支援教育論など

村田　泰弘

准教授

PROFILE

実習教育に関わって 16 年目。修士（社会福祉学）、博士・修士（教育学）、社会福祉士。特別支援学校常勤講師、特別支援学校寄宿舎非常勤指導員、福祉型障害児入所施設児童指導員、障害者支援施設生活支援員、大学非常勤講師・専任教員を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 魅力いっぱい、保育の仕事

保育はとてもやりがいのある、なくてはならない仕事です。子どもたちの成長を支えることは、これからの社会の土台を作っていくことにも繋がります。子どもたちのワクワクした瞳にきっとあなたも引き込まれます。そんな保育の仕事についてお話します。

担当科目　障がい児保育／特別支援教育論／教育実習指導 他

熊谷　享子

准教授

PROFILE

東京学芸大学大学院教育学研究科修了、北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程満期取得退学。その後、保育士試験で保育士資格を取得し、保育所で保育士として勤務。その後複数の保育者養成校に勤務し、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　子どもと共に

子どもを観察するということ

子どもはいつだって学ぼうとしているのです。そんな視点で子どもを観察すると子どもの行動や表情の背景にある心の育ちが見えてきます。子どものおもしろさ、保育のおもしろさをお話しできたらと思います。

担当科目　保育原理／乳児保育Ⅱ／保育内容「人間関係」

倉畑　萌

准教授

PROFILE

岐阜大学教育学部卒業。同大学大学院教育学研究科修了。奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程修了。博士(学術)。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　子どもの「心」と「身体」を育む運動遊び！

「運動遊び」がもたらす様々なメリット

現在、運動遊びは“体力・運動能力の向上”、“丈夫な身体”、“意欲的な心”、“社会適応力”、“脳の発達”によいとされています。それはなぜなのか、そしてそれらを促進するためにはどうしたらよいのか。最新の研究成果や事例を踏まえながら考えていきます。

担当科目　身体による表現活動／保育内容（健康）／幼児と健康／専門ゼミナール

小椋　優作

准教授

PROFILE

岐阜県立中津高等学校卒業、岐阜大学教育学部保健体育講座卒業、同大学大学院保健体育領域修了。岐阜県内の小学校教員を経て、現在に至る。研究分野は発育発達学。専門種目は水泳。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ　インクルーシブ保育

多様性が認められるということ

障害の有無、国籍の違い、その他さまざまな背景をもつ子どもたちが、同じ空間で生活し、互いに理解し合うことが目指されている保育があります。違いって何だろう？多様性って何だろう？同じじゃないといけないの？一緒に考えてみませんか。

担当科目　乳児保育Ⅰ／保育内容(言葉)／幼児と言葉／保育基礎講座Ⅱ／専門ゼミナール／保育実習ⅠA(保育所)

遠座　未菜

講師

PROFILE

愛知県立大学教育福祉学部教育発達学科卒業。名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育人類学領域修了。岐阜県内私立保育園保育士を経て、現在に至る。

短期大学部
社会福祉学科

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 一緒に考えよう、広がる「介護」の可能性

介護の世界は多領域の専門職が「人間らしく生きること」を支える現場です。その現場は、今、新たな技術、文化、産業等が参入、交差する領域として急速に拡大しています。授業では、3D プリンタなどの新技術を介護に活かす取組や外国人介護人材の受入れなど、今日起きている実際の話題を取り上げ、これからの「介護」に様々な分野の活動をつなげて考える可能性を学びたいと思います。

担当科目　社会学／人間関係とコミュニケーション／教育社会学　他

その他のテーマ
●コミュニケーション入門
●校則の歴史から学校を考える

吉川　杉生

教授
社会福祉学科　学科長

PROFILE
明治学院大学大学院社会学研究科社会学・社会福祉学専攻博士課程後期単位取得満期退学。専攻研究領域は教育社会学(学校問題・青少年問題等)に加え、介護福祉教育、介護問題研究。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ セラピーの世界

①ドッグ・セラピー体験で「癒し」のパワーを感じてみよう！
②反射療法(リフレクソロジー)体験でこころとからだを開放しよう！
心身のセルフコントロールの一方法として、また、介護や看護の必要な方の心身の不調の軽減やコミュニケーション手段として活用できる「ドッグ・セラピー」もしくは「反射療法（リフレクソロジー)」の理論を学び、その効果を実感しながら手法を身につけます。

担当科目　介護総合演習／健康管理／生活支援技術／心とからだのしくみ／介護過程／医療的ケア／リラクセーションケア　他

その他のテーマ　●介護の基本技術と介護機器および ICT の活用

横山　さつき

教授
社会福祉学科　学科長補佐
大学院（人間福祉学研究科）兼担

PROFILE
看護師、保健師、社会福祉士（看護学修士、社会福祉学博士）リフレクソロジスト、アニマルセラピスト

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 介護技術のコツ ～無意識な動作を意識してみよう～

介護のコツは日常の何気ない動きに隠れています

日常生活の中で何気ない身体の動作を意識してみつめると、そこには介護技術に役立つ「自然な動き」が隠れています。これを活かした負担の少ない介護方法を一緒に考えましょう。

担当科目　生活支援技術／介護総合演習／介護過程／認知症の理解／地域総合演習／災害介護

その他のテーマ　●高齢者福祉施設の現状と魅力

高野　晃伸

教授

PROFILE
日本福祉大学大学院福祉マネジメント専攻修士課程を修了。愛知県の特別養護老人ホームから長野県のケアハウスまで計2組織5施設に勤務、介護職・相談員・施設長の職を歴任。平成20年3月に退職し、現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 印象を決める身体の使い方、姿勢と呼吸で人にアピールするには

身体を知ると見た目が変わる

キリッとした表情を支えているのは背中の姿勢。表情筋と姿勢維持筋の関係をビジュアルで解説し、姿勢と表情の関係性を体験します。また、姿勢維持筋と呼吸補助筋の関係を知り、呼吸によって落ち着きと良い姿勢を同時に得る実施方法を体験します。

担当科目　所作表現論／非言語コミュニケーション

橋　逸郎

教授(特任)

PROFILE
愛知学院大学法学部卒業。雨宮隆太との共著に『完全版呼吸法』『健康太極拳エクササイズ』『腕振り健康法スワイショウ入門』(ともにベースボール・マガジン社)等著書多数。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ 高齢者の支援と人権

高齢者への支援を通して人権を考える

高齢者の人権について、支援や介護を通して考えていきます。高齢になると、様々な心身の変化とともに環境の変化が伴うことも珍しくありません。自分がその立場になった時、どの様なことを望むのか考えるきっかけとなればと思います。

担当科目 社会福祉の基礎／基礎ゼミナール／介護過程Ⅱ・Ⅲ／介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ／介護学習の基礎Ⅱ／介護福祉士国家試験対策講座／介護の基本A（生活文化と地域社会）／地域総合演習／社会保障論

後藤　裕子

准教授

PROFILE

日本福祉大学卒業後、医療ソーシャルワーカー、居宅介護支援専門員として勤務。その後、福岡県立大学人間社会学研究科修士課程修了。西日本短期大学社会福祉学科教授を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ うれしい・たのしい・ふくしのお仕事 ～だれかの笑顔が私の元気～

「ふくしのお仕事」と聞いて思い浮かべるのは、きつい？きけん？？たいへん？？？そんなイメージでしょうか。「ふくしのお仕事」の実際はどうなの？私は「ふくしのお仕事」に向いているだろうか？福祉施設での勤務や学生支援の経験から「ふくしのお仕事」についてお話しします。

担当科目 介護福祉論／生活支援技術／介護過程／介護総合演習／介護基礎実習／介護過程実習／介護総合実習／障害者施設実習

海老　諭香

准教授

PROFILE

中部女子短期大学（現中部学院大学短期大学部）幼児教育学科卒業、同短期大学専攻科修了。日本福祉大学福祉経営学部卒業・中部学院大学院人間福祉学研修科修了。特別養護老人ホーム介護職の後、本学職員として実習教育やキャリア支援において学生支援に携り、現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ コミュニケーションをはかるってどういうこと？

伝え上手・きき上手になるには？

「コミュニケーション」と聞くと、「何を話そう」「話をするのは苦手」と不安になってしまう人がいると思います。でも、会話だけがコミュニケーションをはかる手段ではありません。どのような方法があるのか、一緒に体験しながら考えてみましょう。

担当科目 生活支援技術／介護過程／介護総合演習／介護福祉論／認知症の理解／地域総合演習／基礎ゼミナール

桝井　彩喜恵

准教授

PROFILE

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。中部学院大学人間福祉学部卒業後、高齢者施設で生活相談員・介護職として勤務。その後、本学職員兼実習指導講師を経て現在に至る。社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士。

学びの領域

医療 健康 教育 **福祉** 経営

講義テーマ みんなで協力して危機を乗り越えよう

私たちの日常で人と意見の違いがあった時、簡単に自分の意見を変えたり、自分の意見だけを主張しても関係性はうまくいきません。ゲームを通じて、相手の考えに共感したうえで自分の思いを冷静に伝える楽しさを体験してみましょう。

担当科目 基礎ゼミナール / 介護福祉論Ⅱ / 生活支援技術（介護）Ⅱ / 介護過程Ⅲ / 介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ / 介護過程実習 / 介護総合実習 / 地域総合演習 / 介護基礎実習 / 介護コミュニケーション技術Ⅱ

吉藤　郁

講師

PROFILE

大阪府立大学社会福祉学部卒業後、高齢者施設で介護職員及び介護支援専門員として勤務。その後福井県立大学大学院看護福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程修了。いくつかの介護福祉士養成校を経て、現在に至る。

学びの領域

医療　健康　教育　福祉　経営

講義テーマ

元気で楽しい老後を目指す

高齢者の介護予防への取組み

高齢化が加速している現在、健康寿命の延伸が課題となってきています。高齢者が地域でいきいきと生活していくために、私達ができる介護予防について一緒に考えてみましょう。

担当科目　基礎ゼミナール／認知症の理解 A(医学)／障害の理解 A(身体障害)／こころとからだのしくみ B･C

東倉　一代

助教

PROFILE

岐阜医療科学大学保健科学部看護学科卒業後、総合病院で病棟看護師として勤務を経て現在に至る。

大学事務局

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 今を生きる私たちにできること ～見すえて想像して～

太平洋戦争の末期、沖縄では住民を巻き込んだ熾烈を極めた地上戦が行われた。３月には東京に焼夷弾、８月には広島、長崎に原爆が投下され、街、くらし、命が瞬間になくなった。戦争の惨禍を知る戦争体験者、被爆者の方々は、いずれこの世を去ります。残された私たちがどのように先人たちの体験を語り継ぎ、戦争の悲惨さを伝えていくのか皆さんとともに考えたいと思います。

杉原　茂男

特命学長補佐
特任教授

PROFILE
広島大学卒業、筑波大学大学院教育研究科修了。岐阜県教育委員会指導主事、県立岐阜商業高等学校(定)教頭、岐阜高等学校教頭、市立岐阜商業高等学校長、大垣西高等学校長、岐阜県博物館長を経て現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 生徒による「ルールメイキング」

～校則や学校のルールを生徒と一緒に考えよう～

学校における校則や様々なルールは、集団生活において、生徒が互いに快適に生活したり、安全安心を保障したり、教育の質を高めるなど、生徒の利益を目的として定められるものです。当然、当時者である生徒の意見が反映されるべきであり、その手法と進め方について、制服の見直しなど具体的な事例を通して考えていきます。

鈴木　健

大学事務局次長
教務部長
特任教授

PROFILE
筑波大学第二学群生物学類卒業。土岐北高校、可児高校、岐阜高校、羽島高校教諭、岐阜県東京事務所主査、県教育委員会課長補佐、池田高校教頭、吉城高校校長、県教育委員会教育研修課長、岐阜北高校校長を経て現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ これからの時代に求められる力とは

AI（人工知能）が日常に溶け込む時代となってきました。今後、私たちの生活を大きく変える存在として注目を集めていますが、私の場合、期待と不安が同居しています。そんな不確定な時代を迎えるにあたり、今後求められる人間力（生き方、考え方）について一緒に考えてみましょう。

西垣　幸司

学生支援部長
特任教授

PROFILE
順天堂大学体育学部卒業、岐阜大学大学院教育研究科修了。郡上、多治見、多治見工業、東濃実業、可児高校教諭、岐阜県教育委員会課長補佐、東濃フロンティア、東濃実業高校教頭、中津高校副校長、可児工業高校校長を経て現在に至る。

学びの領域
医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 比較文化と多文化共生

言語と文化から多文化共生を考える

現代社会は、人・モノ・カネ・情報が国境を飛び越え行き交うグローバル化の時代。そんな時代の波の中に漂う日本の現状を考えると、様々な課題が見えてきます。言語と文化、教育などに焦点を当てながら、多文化共生について一緒に考えましょう。

井藤　勝夫

入試広報部長
特任教授

PROFILE
同志社大学文学部英文学科卒業、船津高校、可児高校、東濃高校教諭、文科省 REX プログラムでオーストラリア・ビクトリア州へ派遣、岐阜県体育協会課長補佐、可児高校教頭、加茂高校副校長、加茂高校校長を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 対象者に合わせたレク・ワーク体験

楽しいをつくる、心を元気にする、笑顔を引き出す、レクリエーション体験

「発想」を変え、「ルール」や「用具」を工夫すれば、年齢（子どもから高齢者）や障がいの有無にかかわらず誰にでもレクリエーションやスポーツを楽しんでもらうことができます。実際にレクを体験しながら対象者や目的に応じたポイントを押さえていきましょう。

その他のテーマ
- ●パラスポーツを楽しむ基礎知識
- ●生きること、働くこと、自分の人生を考える

高柳　竜一

総務部次長
入試広報課長
大学広報室長

PROFILE

愛知学院大学商学部卒業。(株)藤美屋酒店勤務後、本学に入職。名古屋経済大学非常勤講師、愛知淑徳大学非常勤講師、NPO 法人愛知県レクリエーション協会常任理事(指導者育成部長)、スペシャルオリンピックス日本・岐阜評議員、中部学院大学陸上競技部部長 他。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ スポーツ指導者に求められるもの

子供のスポーツ指導に関わるコーチや保護者に向けて

スポーツが好きな子供たちをどうやって育てていくか、コーチの立場として、保護者の立場として、「する」「見る」「支える」スポーツの観点を踏まえて一緒に考えていきましょう。

細井　恒樹

学生課長
特任教授

PROFILE

筑波大学体育専門学群卒業、土岐、可児、八百津、可児工業、武義、関有知高校教諭、岐阜県教育委員会課長補佐、武義高校教頭、各務原高校校長を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ より良い学校生活ついて考えませんか

毎日の生活や行事について、自分たちが主体となって改善を図る

教員向けに学校組織マネジメントの研修講師をしておりました。その時の手法、SWOT分析やKJ法を使い、例えば、生徒会や委員会のメンバーで、自分たちの生活や学校行事を分析し、より良いものにしませんか。現状分析や改善方法の進め方を一緒に学びましょう。

池田　哲也

キャリア支援センター事務課長
特任教授

PROFILE

同志社大学工学部卒業。海津高校、恵那高校、恵那農業高校、長良高校、各務原西高校、岐阜県教育委員会教育研修課指導主事、飛騨高山高校教頭、岐阜北高校教頭、本巣松陽高校校長、関高校を経て現在に至る。

学びの領域

医療 健康 教育 福祉 経営

講義テーマ 亜熱帯化する学校現場で、運動中の事故を防ぐために

夏の熱中症・水の事故はなくせます

日本の亜熱帯化は疑う余地がなく、「気温の上昇」や「天候の急変」への対応は喫緊の課題です。31年間の体育教師の経験と海外での気温45度・湿度99%の体験を踏まえ、「熱中症対策」「プール（河川・海）での危険回避」などをわかりやすく伝えます。

小牧　憲充

キャリア支援センター事務課主幹

PROFILE

順天堂大学体育学部卒業。阿木高校教諭、加茂高校教諭、岐阜藍川高校教諭、岐阜城北高校教諭、岐阜県教育委員会スポーツ健康課指導主事、岐阜県教育委員会体育健康課指導主事、大垣西高校教諭を経て現在に至る。

出張講義申込みについて

本学教員が日ごろ、学生を対象に実施している講義内容を、高校生向けにアレンジして紹介します。総合学習の時間、LHRにおける進路指導などにご利用ください。また、各種団体などの社会人向けにも対応が可能ですので、お気軽にご相談ください。

Step 1 ご希望の出張講義を探す

この冊子よりお選びください。学科や領域からも選べます。（p2～p5）

▼

Step 2 ご希望の出張講義の申込み

申込書に必要事項をご記入ください。希望日は３つまで選択してください。
希望テーマ・希望講師へのご質問も承ります。

▼

Step 3 FAXを大学へ送信

申込書は本学の担当者に届きます。返信にはスケジュールの調整上、時間がかかる場合がございます。1週間経っても連絡がない場合は、本学の担当窓口へお電話にてご確認ください。

高等学校関係者様はこちらへ

お申込み
FAX 0575－24－2367

お問い合わせ先　入試広報課
TEL 0575－24－2213（直）
E-mail nyushi@chubu-gu.ac.jp

その他の機関の方はこちらへ

お申込み
FAX 0575－24－9432

お問い合わせ先　地域・産学連携課
TEL 0575－46－7158（直）
E-mail chiiki@chubu-gu.ac.jp

申込日　　月　　日

2026年度 中部学院大学・中部学院大学短期大学部

『出張講義』申込書

貴高等学校名	高等学校		
ご担当者氏名			
電話番号			
実施対象	□生徒対象　□教職員対象　□保護者対象　□その他（　　）		
参加人数	およそ（　　）名（　　）学年　※学年は生徒対象の場合のみご記入下さい。		
実施形態	□学校行事として　□授業の一環として　□研修として　□その他（　　）		
ご希望日時	第1希望　　月　　日（　） ：　～　：	第2希望　　月　　日（　） ：　～　：	第3希望　　月　　日（　） ：　～　：
ご希望のテーマまたは希望講師名 希望テーマ　　希望講師名			
質問・希望など			

※なお、希望される日時については、第1希望から第3希望までお考えいただきたく存じます。※この申込書をコピーし、必要事項をご記入ください。

出張講義ガイド
2026

Chubu Gakuin
中部学院大学
大学院 / 大学 / 短期大学部

【関キャンパス】　〒501-3993　岐阜県関市桐ヶ丘 2-1
【各務原キャンパス】　〒504-0837　岐阜県各務原市那加甥田町 30-1
入試広報課　TEL 0575-24-2213 / FAX 0575-24-2367 / E-mail nyushi@chubu-gu.ac.jp
https://www.chubu-gu.ac.jp/　中部学院大学　検索

2026.4 発行

中部学院大学

人間福祉学部／教育学部／看護リハビリテーション学部(理学療法学科・看護学科)
スポーツ健康科学部
通信教育部(人間福祉学部)

中部学院大学短期大学部

幼児教育学科／社会福祉学科「介護福祉コース」「ビジネスデザインコース」「医療事務コース」

中部学院大学大学院

人間福祉学研究科